あいちの印刷

3
2020.3
No.580

箱根ガラスの森美術館（神奈川県箱根町）

もくじ

■ 巻頭言　人生の目的は「少しでもお役に立つ」…… 3
■ 令和元年度中部地区印刷協議会下期会議
印刷業に適した働き方改革を …… 4
■ 中部地区印刷協議会下期会議／全印工連会長挨拶
幸せな働き方改革が重要 …… 6
■ 身近な催し物のお知らせ …… 7
■ 全印工連CSR認定
第29期ワンスター認定募集 …… 7
■ 愛印工組・新入社員研修会のご案内
「印刷会社の新入社員研修会」が始まります …… 8
■ 愛知県印刷工業組合〈令和2年度〉
「印刷会社の新入社員研修会」カリキュラム …… 9
■ 「働き方改革」時間外労働／基礎知識
時間外労働の上限規制 ……10
■ 機器管理者へお知らせ ……13
■ 愛印工組・後援 “光文堂新春機材展”賑わう……14
■ 全印工連
印刷業界のための事業承継ガイドブック発刊 ……14
■ INFORMATION DESIGN ……14
■ 編集だより ……14
■ 付録「あいちの印刷」誌上情報展 ……15

人に 社会に 想いを カタチに

愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します―― 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

「減らす」がつくる、クオリティ FUJIFILM SUPERIA

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社　中部支社　〒460-8404　名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル　052(201)8171　ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp

Assist Your Potential

― 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する ―

日ごとに厳しさを増す、短納期ニーズや品質管理要求に応える印刷の現場。
RMGT の自動化・省力化技術は人を援(たす)け、時間と労力を費やす作業を代行します。
そこで生まれる余力こそ、創造性を発揮するエネルギー。
RMGT は、技術力と創造力で、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。
そして、人が中心になって機械や技術を使いこなす世界を目指します。

RMGT

ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
中日本支社　〒468-0034　愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1　TEL 052-807-1671
http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。

eRC SERIES

Photo : eRC115DX

ITOTEC

▌最新情報はインターネットで **www.itotec.co.jp**

イトーテック株式会社

本　社	愛知県犬山市舟田10-4	TEL 0568-67-5311	FAX 0568-68-0495	〒484-0912	**福岡サービスセンター**	福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6	TEL 092-651-6031	FAX 092-631-1746	〒812-0051
東京支店	東京都板橋区中台1-31-1	TEL 03-5920-2161	FAX 03-5920-2171	〒174-0064	**札幌サービスセンター**	札幌市中央区北一条西18-1	TEL 011-611-7221	FAX 011-611-7224	〒060-0001
大阪支店	東大阪市荒本新町3-29	TEL 06-6618-5335	FAX 06-6618-5337	〒577-0022	**新潟サービスセンター**	新潟市横越中央1-11-10	TEL 025-385-2059	FAX 025-385-3701	〒950-0208
四国営業所	愛媛県四国中央市新宮町上山3307	TEL 0896-72-2020	FAX 0896-72-2050	〒799-0302	**仙台サービスセンター**	仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7	TEL 022-258-1758	FAX 022-258-1793	〒983-0003

巻頭言

人生の目的は「少しでもお役に立つ」

副理事長　松岡　祐司

皆さんお元気でしょうか。私は昨年三重大学の地域イノベーション学研究科後期博士課程に入学しました。人生 80 年とすると、最初の 20 年は社会に出る準備のために勉強をする期間。20 歳から 60 歳までは社会に出て思い切り働く期間。そして 60 歳からはお世話になった地域社会や業界のためにご恩返しをする期間、と私は思っています。

私は大学を卒業後、名古屋の伊奈工芸印刷様で 2 年間の修行をさせて頂きました。この 2 年間の経験のおかげで現在の私があると大変感謝しています。父親が始めた軽オフセット印刷のアサヒプリントセンターに入社後は、懸命に働きました。まだまだ経済成長期であり、社員もお客様、売上も順調に増えて 37 歳の時にアサプリに社名変更し、父親から事業承継をして社長に就任しました。

人生の転機となったのは 2002 年にプリンターとの M&A を行なったことです。息子さんを交通事故で亡くされた社長から会社を引き受けてほしいとのお話をいただきました。アサプリとプリンターの中小企業同士の M&A は当時まだ珍しく、お互いにシナジー効果もあり大成功でした。社長には会長として義理の父のように良くして頂き、5 年間本当にお世話になりました。この実績を買われて 2005 年にオリエンタル印刷の再建を地元の金融機関に頼まれました。社長には会長として 5 年間本当に良くご協力頂きました。2012 年に大阪の広告制作会社バロックから資本提携の話を頂きました。グループへ大量の印刷発注を頂き、大きなシナジー効果があり、大阪や東京に拠点も広がりました。社長には会長として 7 年間本当にお世話になりました。2017 年には昭和印刷を第二会社方式で引き継ぎ、社長には会長として今も現役で頑張って頂いています。2018 年には東京のオーレを M&A し、ネット通販の領域に事業展開できました。社長には同じ年に M&A した横浜のフォトデリバリージャパンで業務改善にお力添え頂き、大変感謝しています。

正常案件ばかりではなく､破産や再生案件もあり、思い起こせば本当に大変なことや反省点もたくさんありました。しかし私のこの実体験は、必ずや日本の中小企業や印刷業界の事業承継の課題解決の一助になると思います。私の人生の目的のために、文書化し論文として発表させて頂きます。論文のテーマは「中小企業の日本式 M&A と幸せな事業承継」です。残りの人生をかけて少しでもお役にたてれば幸いです。

変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DICグラフィックス株式会社
ディーアイシー
http://www.dic-graphics.co.jp/
本　社　〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20ディーアイシービル
電話03-6733-5001
名古屋支店　〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15
電話052-951-9336

■令和元年度中部地区印刷協議会下期会議

印刷業に適した働き方改革を

話し合いを各県工組へフィードバック

挨拶をする大洞会長

令和元年度中部地区印刷協議会（中部地区協／大洞正和会長・岐阜県印刷工業組合理事長）の下期会議（愛知県会議）が、2月7日午後1時30分より名古屋駅前のホテルキャッスルプラザで開催され、中部5県（愛知、岐阜、三重、富山、石川）の印刷工業組合執行部、役員、理事など57名が出席。全日本印刷工業組合連合会（全印工連）からは、臼田真人会長、細井俊男副会長、惟村唯博常務理事、長島文雄事務局次長が出席した。司会進行は中部地区協事務局の丹羽邦夫氏（愛印工組専務理事）が務めた。

全体会議は、鳥原久資中部地区協副会長（愛印工組副理事長）の開催県挨拶に続き、大洞中部地区協会長が挨拶に立ち、「今年はオリンピック、パラリンピックがある。また業界では今日まで池袋サンシャインでpage2020が行なわれているし、6月にはdrupaも開催される。drupaは印刷業界だけではなく、関連する業界からも注目されている4年に1度の展示会であるので、どんな指針が示され、メーカー、ベンダーからどんな提案、企画がでるかが注目される」と業界の催し物と方向性に触れた。続けて、全印工連の取組みについて、「全印工連の取り組んでいることを、今日これから行なわれる分科会、理事長会でディスカッションをして、より良い時間を過ごせればと思う。今日の話し合いを、県工組に戻り、フィードバックして、各県工組の発展につなげていただきたい」と述べた。

続いて、全印工連の臼田会長が、全印工連の活動を紹介した。臼田会長は、「全印工連としては、生産現場を持っている我々印刷業に適した働き方改革をプロジェクトチームで研究して、その結果、成果を全国の組合員の皆様に示していく」と幸せな働き方改革について全印工連の方向性を示した。また、全印工連が目指すデジタルトランスフォーメーションについても概要を説明した。臼田会長の挨拶は別項で掲載。

その後、長島次長から全印工連の事業概要説明が行なわれ、次のように概要を説明した。

経済産業省の調査事業である「印刷産業における取引環境実態調査」について、我が国の印刷産業を巡る市場環境の変化を踏まえ、中小印刷企業全般に共通する財務情報、経営情報及び設備投資動向及び取引実態の状況等を把握するための実態調査をするとともに、印刷産業の持続可能な発展に向けた方策について報告書を取り纏めるとしている。

広報戦略の推進「大喜利印刷」第2弾プロジェクトでは、全

惟村常務理事

長島事務局次長

国11社の参加企業によりスタート。参加企業は、㈲三共印刷所(福島県)、カシヨ㈱(長野県)、UMO(山梨県)、㈱エイエイピー(静岡県)、㈲篠原紙工 (東京都)、㈱栄光プリント (石川県)、アインズ㈱ (滋賀県)、㈱三和印刷 (島根県)、㈱トータルプルーフ (福岡県)、鹿島印刷㈱ (佐賀県)、㈱平山印刷 (沖縄県)。

幸せな働き方改革では、STEP4が完成、STEP5は3月に完成すると報告した。

また、3月10日、横浜市開港記念会館での「全印工連CSRサミット2020」、10月9日・10日、長野県ホテル国際21での「全日本印刷文化典長野大会2020」の開催が報告された。

その後、惟村唯博全印工連常務理事から「幸せな働き方改革　STEP4『就業規則整備』」について説明が行なわれた。

惟村常務理事は最初に、「全日本印刷工業組合連合会では、経営者と従業員、会社との関わりを通じて、幸せを感じるをコンセプトに、負のスパイラルから幸せな働き方への変換をテーマに掲げ、働き方改革時代における新たな取り組み、幸せな働き方改革を推進している。これまで、STEP1では、何故働き方改革が必要なのかをテーマに、働き方改革の必要性を注視し、STEP2では、働き方改革を進めるための目標、計画の設定、STEP3では、現業の問題を洗い出し、仕事そのものを見直す、職務に対するアプローチとして業務革新を案内した。STEP4、就業規則整備では、働き方や人材活用のルールを見直す、人に対するアプローチとして人を活かすルール作り。就業規則の整備について案内をする」と述べ、STEP4の説明を行なった。

休憩を挟み分科会が行なわれ、全体会議後半では各分科会、理事長会の報告、さらに、全印工連ＣＳＲ推進専門委員会活動報告を山田慎二委員(愛印工組理事)が行なった。

分科会報告は、次号で取り上げる。

その後、質疑応答、大洞会長の下期会議纏めの後、水谷勝也副会長(三重県工組理事長)の閉会の挨拶で終了した。

※　　※

令和2年度中部地区印刷協議会上期会議(三重県会議)は、6月5日(金)三重県四日市市の都ホテルで開催される。

2020 全日本印刷文化典長野大会

会場：ホテル国際 21（長野市県町 576）

【10月9日】記念式典、全印工連フォーラム、記念講演
(講師：久世良太㈱サンクゼール社長)
【10月10日】全印工連理事長会、全国事務局研修会、
全青協各県青年会代表者会議、全印工連フォーラム

『印刷業向け業務パッケージの決定版　P-MAN』

印刷情報管理システム

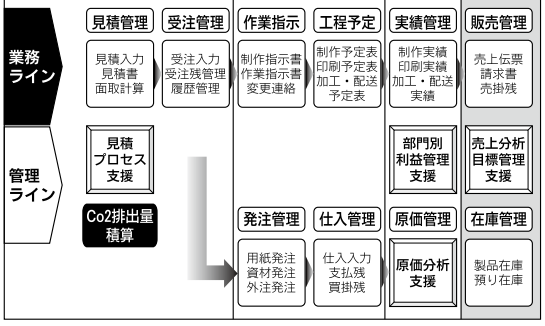
P-MAN Business e-Brain

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工／配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』　『今こそ！！情報の見える化（MIS)』

印刷CO_2排出量算出見積積算機能が追加されました！



株式会社モトヤ　〒542-0081　大阪市中央区南船場１-10-25　TEL. 06-6261-1931
〒104-0032　東京都中央区八丁堀４-５-５　TEL. 03-3523-8711

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

□中部地区印刷協議会下期会議
全印工連会長挨拶

幸せな働き方改革が重要

臼田真人
全日本印刷工業組合連合会会長

直近の1期2年間の事業の中心としたのは「HAPPY INDUSTRY　人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」である。印刷産業は、誇りを持って、幸せを世の中に送り出す産業である。そういう自信を取り戻そうというキャンペーンを張って、事業を進めている。その中の大きなひとつが、働き方改革である。世の中にいわれている働き方改革の頭に「幸せな」を付けている。世の中で言われている働き方改革は法令順守であり、これは製造現場を持っている我々印刷業で、何も考えずにノー残業を行なったら、ほとんどの会社では売り上げが下がる。一番に悲鳴を上げるのが従業員である。何故なら残業代が無くなり手取りが減る。一見、働き方改革が進んで、残業が無くなり、今どきの会社に見えるが、売り上げがなくなってくる。3ヶ月後、半年後に対する取組み、未来に向けての投資活動にチャレンジする時間も取ってしまう。そうすると、3ヵ月後、6ヵ月後、どんどん売り上げが減る。当たり前の話である。だから、全印工連としては、生産現場を持っている我々印刷業に適した働き方改革をプロジェクトチームで研究して、その結果、成果を全国の組合員の皆様に示していく活動をしている。本日も、全印工連の惟村唯博常務理事から幸せな働き方改革STEP4の説明をする。

働き方改革とは別に全印工連が3年前から始めている話を少しだけする。年が明け、印刷関連団体の会長の皆様の年始の挨拶の中にデジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉が多く飛び交っていたと思う。昨年の大阪フォーラムでDXというものを皆様にお示ししたが、そういった言葉が年始より行きかっている。ただ、一昨日経済産業省の担当課長と、デジタルトランスフォーメーションを印刷業界でどういう形で実装していくのかのイマジネーションが無い中で、あたかもマジックワードの形でいろいろな方が使い始めているが、ミスリードする可能性が有るという話をした。

我々全印工連としては国が唱えている第4次産業革命、これは皆さんが聞かれているビッグデータ、AIに基づいて、ロボタリー化を進めていくという話である。ここに成熟した日本の経済をさらに加速度をつけていくという話をしているが、我々が日本を振り返ったときに印刷業のみならず、製造業においては、その前段の第3次産業革命といわれている「高度情報化」。分かりやすくいうとコンピューター化が全然できていない。

我々の印刷業界において、高度情報化が実装されていない会社が多い。全印工連4500社のうち約6割は10人以下の会社といわれている。全印工連の平均従業員数は19人である。19人はぎりぎりでまだアナログのところが結構多い。仮に入れたとしても会計ソフトで、見積り、請求書はなんとかデジタル化しているが、生産管理はほとんどデジタル化できていない。これが実態だと思う。この先に第４次産業革命。ビッグデータを上手く運用して、その先のスマートファクトリー化を目指す。これは無理に決まっている。そして今、デジタルトランスフォーメーションという話がどんどん来ている。

全印工連は2年前から経済産業省と今の実態の話をしている。何故印刷業界がするかというと製造業の中では、１～３番を争うぐらいの日本の既存産業の中で大きな産業が印刷産業である。日本の1～3番を争う既存の製造産業がこういった実態の中で、その先の第4次産業革命でおきるデジタルトランスフォーメーションは絵に描いた餅になると話している。ではどうすれば良いかの構想を全印工連の産業戦略デザイン室で議論し、取りまとめをしている。

並行して行われているのは経済産業省からの委託調査事業でローランド・ベルガー社が受託しているが、日本における印刷産業の実態調査をしている。これはなにを結論として出すかというと、我々全印工連が持っている仮説「日本の国内マーケットに対して設備が過剰ではないか」、「供給過剰ではないか」という形で日本の設備に対する稼働率を調べた。これが出たとき、我々全印工連が目指すデジタルトランスフォーメーションはなにかというと、デジタルトランスフォーメーションは大きく分けて、1社完結のデジタルトランスフォーメーションと他社と繋ぐデジタルトランスフォー

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料
SINCE 1889 株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区橦木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611　FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

メーションがある。他社連携のDXを全印工連が構築するために今活動をし始めている。経済産業省の実態調査が終わったら、その実態調査の中に、今後の印刷産業における永続的な経営戦略の中に企業連携によるDXの実装というのが、多分文章の中に入ってくると思っている。具体的に何をするかというと、全印工連の会員企業の平均従業員数は19人、売り上げは４～５億円、売り上げがその倍以上の会社は多分自社開発をしている。数千万単位のソフトウェアをいろいろなところで作っている。海外は簡単なプラットフォームのクラウドのシステムを上手く利用している。そして自社のワークフローだけはそこの部分だけのモジュールを差し込むような運用をしている。自己資本投資できて立派なシステムを入れている会社はそれでよいと思う。しかし、多くの全印工連の会員の方々に対して、会計、ERP、生産管理ソフトウェア、MISの融合型の簡単な基礎データを運用管理できるようなものを設計していきたい。それをほぼ負担の無い範囲で提供して、まずは自社管理をしていただく。自社の生産管理、財務管理をしていただく。

その上で、同じプロトコルで、同じソフトウェアを使っているので、連携ができる。その連携も幾つか考えており、一つは地域連携、ローカル　ツー　ローカルの連携、例えばA社とB社が連携して仕事を融通させる。1社で設備を保有するのが負担の会社は、その会社と連携ができているので、仕事を渡せる。今まで50％の稼働率が70、80、100％になる。2つ目が技術連携、自社に持っていない技術をどう補間し合うか。3つ目は海外との連携。ローカル　ツー　ローカルの連携、それから技術連携、こういったものが、我々が今考えている管理ソフトウェアで皆さんを繋げていく。こういう構想の準備をしている。1社では解決できない様々な経営課題、もしくは収益性を担保するような側面支援、サービスに取り組むのは、これからの時代の印刷組合のあるべき姿であるし、存在価値であると思っている。これは構想段階であるが、具体的にどのように進められるかは適宜皆さんに示していく。

全印工連、4500社。中々 1社では、自己資本投資できない組合員の方々のお役に立つような事業をこれからも進めていきたいと思っているし、後任にもしっかりと引き継いでいきたいと思っている。

●身近な催し物のお知らせ　　令和2年3月10日以降の事業

開催日時		事業・行事、場所、備考
4月2日(木)～5月28日(木)	事業名	愛知県印刷工業組合 令和2年度【印刷会社の新入社員研修会】
	場所	メディアージュ愛知3階会議室　他
	備考	詳細は組合ホームページより開催案内をダウンロードしてご覧ください。
5月15日(金)	事業名	「愛知県印刷協同組合」および「愛知県印刷工業組合」総会
	場所	名古屋観光ホテル
	時間	平成30年度より「総代制」から「総会制」に移行しました。 組合員皆様のご出席をお願いいたします。 15時30分　愛知県印刷協同組合　総会 16時00分　愛知県印刷工業組合　総会 18時00分　合同懇親会

■全印工連CSR認定

第29期ワンスター認定募集

2020年4月30日締め切り

全印工連CSR認定第29期ワンスター認定募集を開始。ちなみに、2019年12月現在のCSR認定企業は116社。

■応募資格／全印工連CSR認定規格が定めるCSRの取り組みを行なう企業。

■応募期間／ 2020年2月3日 (月)～ 2020年4月30日(木)※2020年６月認定登録(予定)

■申請書類／応募申込書の到着後、全印工連より申請書類が送付されるので次の①～⑤を提出する。①CSR取り組み項目チェックリスト、②法令遵守宣誓書 (所定様式)、③納税証明書 (税務署が交付した証明書)、④過去3年間の行政処分がないことの宣誓書 (所定様式)、⑤添付書類 (CSR取り組み項目チェックリストでチェックした項目を証明する書類)。

■問い合わせ

全印工連CSR認定事務局TEL03-3552-4571

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

□愛印工組・新入社員研修会のご案内

「印刷会社の新入社員研修会」が始まります

共通コース①／②、営業コース、制作コース、製造コース講座は、選択受講が可能!

■お急ぎください　4月2日が開講日です

愛知県印刷工業組合／労務・新人教育委員会（堀裕史委員長）は、2020年度「印刷会社の新人社員研修会」を4月2日から5月28日までの2 ヵ月間にわたり開催します。カリキュラムは、印刷人としての営業・制作・製造など各分野に従事する人たちのために5コース10講座が用意されており、いずれの講座も経験豊富なベテラン講師が担当します。

【研修コースの特徴】

■共通コース①／②

共通コース①／②では、印刷会社の基礎知識を学びます。各講座の主な教科内容は、①「新入社員基礎研修（規則・礼節）」と「コミュニケーションスキルセミナー」、②「印刷現場における品質管理・5S」、「印刷に関する基礎知識」、「印刷業界人として知っておくべき印刷料金の基礎知識」、「これからの印刷業界」で構成されています。具体的には、品質管理、5S、印刷インキ・用紙、DTP出力・CTP出力、印刷技術の基礎知識、積算事例、MUD、印刷とWebの連携などについての講義があります。

■営業コース

印刷会社の営業社員として必要な基礎知識を学びます。「印刷営業基礎講座」として、営業の真の目的、挨拶、顧客の問題解決、デジタルメディアと印刷、企画とプレゼンテーションなどの講義があります。

■制作コース

印刷会社の制作担当者として必要なセオリーやDTPの実践基礎知識を習得します。教科内容は、デザイン表現に必要な考える力、プリプレスの基礎、DTPの基礎、印刷の実務などが用意されています。

■製造コース

印刷会社の現場で働く社員として必要な印刷技術を学びます。工場見学で実際の仕事の流れ、印刷工程での品質管理、印刷機、用紙、印刷の後加工などの講義があります。

■誰でも参加、講座選択も可能

主催する愛印工組では、「印刷人としての基本的な知識を身に着けるためのカリキュラムで構成しています。新入社員ではなくても、スキルアップに役立つ講座内容となっており、特に制作、製造の各コースは、開催スケジュールを週1日にし、中途入社や既存の社員の方にも受講しやすいようにしています。さらに、愛印工組の組合員でなくても受講ができるように、広く門戸を開放していますし、講座は、全講座受講する必要はなく、興味のある講座のみ選択受講することも可能です」と、参加を呼び掛けています。

この新入社員研修会では、人材育成に取り組む事業主の支援策「人材開発支援助成金」制度を活用できます。制度の詳細については愛知労働局までお尋ねください。

□愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12メディアージュ
愛知　TEL052-962-5771　FAX052-951-0569
http://www.ai-in-ko.or.jp

KOMORI
高品位フルカラーデジタル印刷機
Impremia C Series インプレミアCシリーズ

その仕事、KOMORIのPODにお任せください!
POD特設サイトにてラインアップ
活用事例を紹介中▶
http://www.komori-karesupport.com/digital/pod/
株式会社 小森コーポレーション
本　　社　〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
名古屋支店　〒454-0807 名古屋市中川区愛知町 4-6　TEL.052-363-5011
www.komori.com

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

愛知県印刷工業組合〈令和２年度〉

「印刷会社の新入社員研修会」カリキュラム

開催場所：メディアージュ愛知３階会議室、名古屋国際センター他

講座番号		職務・教科等	教科の内容（概略）	講師予定者	開催日 年月日	開催日 曜日	開催時間	時間数	1人当りの受講料 受講料	1人当りの受講料 パック料金
①	1	新入社員基礎研修（規則・礼節）	社会人としての接遇・マナーの知識の習得等	中部企業教育研究所 松石裕就 氏	R2/4/2	（木）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間	24,200円	44,000円
			「会話の基礎」チームワーク・電話応対等		R2/4/3	（金）		7時間		
			職種に共通して必要な規則・基準、まとめ等		R2/4/6	（月）		7時間		
	2	コミュニケーションスキルセミナー	仕事でのコミュニケーションスキル 話し方・距離感・メールの送り方・所作全般 コミュニケーションスタイルの違いを理解する ロールプレイングを中心とした実践演習 他	アイキャリア 太田章代 氏	R2/4/7	（火）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間	24,200円	
					R2/4/8	（水）		7時間		
					R2/4/9	（木）		7時間		
②	1	印刷現場における品質管理・5S 他	印刷会社におけるはじめての品質管理	㈱アイシン・コラボ 新間章雅 氏	R2/4/10	（金）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間		18,700円
			印刷会社におけるはじめての5S活動・改善活動の基本		R2/4/13	（月）		7時間		
	2	「印刷」に関する基礎知識	概説/印刷物制作工程概要／印刷物制作の基礎知識-1／色と光／印刷用紙／印刷インキ	(公社)日本印刷技術協会 影山史枝 氏	R2/4/14	（火）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間	13,200円	35,200円
			印刷物制作の基礎知識-2／DTPデータ制作の基礎知識／DTP出力・CTP出力／印刷/製本・加工		R2/4/15	（水）	名古屋国際センター 9:00～17:00	7時間	13,200円	
			印刷技術の基礎知識／オフセット印刷について（印刷用の版）／デジタル印刷について／実際の印刷物を測色する		R2/4/16	（木）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間	13,200円	
	3	印刷業界人として知っておくべき印刷料金の基礎知識	印刷会社の社員としての基本知識 積算体系と工程別算出法 各種印刷物別の積算事例	㈱岡田印刷 岡田邦義 氏	R2/4/17	（金）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間		22,000円
				㈱弘文 堀 裕史 氏	R2/4/20	（月）		7時間		
	4	これからの印刷業界	MUDについて （MUDとは/MUDの必要性／印刷業界におけるMUD／ 他）	㈱マルワ 鳥原久資 氏	R2/4/21	（火）	メディアージュ愛知 9:00～12:00	3時間	8,800円	14,300円
			印刷とWebの連携 （印刷通販とWeb受注／今後の印刷業界／ 他）	㈱活英社 西森重文 氏	R2/4/21	（火）	メディアージュ愛知 13:00～17:00	4時間	8,800円	
③	1	印刷営業基礎講座	営業の真の目的とは／ロールプレイングの目的とは／第一印象、挨拶／顧客の問題解決／ 他	㈱ハーモネット 近藤敏子 氏	R2/4/22	（水）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間	17,600円	47,300円
	2		ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾒﾃﾞｨｱと印刷に強くなるための営業ﾏﾝ向け基礎講座 Section1：印刷と文字／文字組版の知識／Webと電子書籍 Section2：デジタルメディアを活用した提案とは？／企画立案とマーケティングの基礎 Section3：印刷トラブル対策と著作権 他	㈱モリサワ 村山浩司 氏	R2/4/23	（木）		7時間	17,600円	
	3		企画とプレゼンテーション	HIME企画	R2/4/24	（金）		7時間	17,600円	
④	1	デザイン&色彩設計のセオリー	情報を読み解くのに必要な基礎知識／デザイン表現に必要な考える力／マルチメディア時代のデザインとは／インプットからアウトプットへ／表現と情報内容の一致と不一致／デザインと色彩心理／色彩の基礎概念と表色法／色彩の理論を実際業務にどう生かすか／他	㈱ Too	R2/4/27	（月）	㈱Too 9:00～17:00	7時間	57,200円	132,000円
					R2/4/28	（火）		7時間		
	2	制作担当者のためのDTP基礎実践	プリプレスの基礎 【演習】Adobe PhotoshopCS 印刷の基礎、DTP の基礎 【演習】Adobe IllustratorCS 印刷の実務 【演習】Adobe InDesignCS		R2/5/12	（火）	㈱Too 9:00～17:00	7時間	33,000円	
					R2/5/19	（火）		7時間	33,000円	
					R2/5/26	（火）		7時間	33,000円	
⑤	1	印刷技術講座	工場見学／実際の仕事の流れ／現場での注意点・初歩的なノウハウ	㈱近藤印刷の工場見学	R2/5/14	（木）	㈱近藤印刷 9:00～12:00	3時間	17,600円	46,200円
			印刷現場で起こりやすい間違った印刷 印刷工程での品質管理	㈱近藤印刷 古田正宏 氏			メディアージュ愛知 13:30～17:30	4時間		
	2		はじめての印刷機／印刷工程での専門用語／安全管理教育	㈱小森コーポレーション 長井裕二 氏	R2/5/21	（木）	メディアージュ愛知 9:00～17:00	7時間	17,600円	
	3		用紙について	平和紙業㈱ 山崎僚子 氏	R2/5/28	（木）	メディアージュ愛知 9:00～12:00	3時間	8,800円	
	4		印刷の後加工について（断裁、製本、加工等）	タナカ 田中 稔 氏	R2/5/28	（木）	メディアージュ愛知 13:00～17:00	4時間	8,800円	

社会人としての基礎知識から印刷技術の基礎知識まで
充実したカリキュラム内容

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

2020年4月から中小企業も導入

時間外労働の上限規制

原則□月45時間・年360時間
特別な事情□時間外労働…年720時間以内
□時間外労働＋休日労働…月100時間未満2 ～ 6か月平均80時間以内

働き方改革の一環として、2020年4月から中小企業においても「時間外労働の上限規制」が始まる。働き方改革は、働く人が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で選択できるようにするための改革になる。現在直面している「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」、「働く人のニーズの多様化」などの課題に対応するためには、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境をつくることが必要になってくる。その上で、働く人の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現することで、成長と分配の好循環を構築し、働く人ひとりひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指している。中小企業においても施行される「時間外労働の上限規制」がどのようなものか、厚生労働省の資料よりまとめてみた。

■法改正のポイント

■時間外労働（休日労働は含まず）の上限は、原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別の事情がなければ、これを超えることはできない。

■臨時的な特別の事情があって労使が合意する場合でも、時間外労働は年720時間以内、時間外労働＋休日労働は月100時間未満（2 ～ 6か月平均80時間以内）とする必要がある。

■原則である月45時間を超えることができるのは、年6か月まで。

■法違反の有無は「所定外労働時間」ではなく、「法定外労働時間」の超過時間で判断される。

■大企業への施行は2019年4月、中小企業への適用は1年猶予され2020年4月からとなる。

■時間外労働の上限規制

長時間労働は、健康の確保を困難にするとともに、仕事と家庭生活の両立を困難にし、少子化の原因、女性のキャリア形成を阻む原因、男性の家庭参加を阻む原因となっています。長時間労働を是正することによって、ワーク・ライフ・バランスが改善し、女性や高齢者も仕事に就きやすくなり労働参加率の向上に結びつきます。このため、今般の働き方改革の一環として、労働基準法が改正され、時間外労働の上限が法律に規定されました。

※働き方改革を推進するための関係法律
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html

■労働基準法における労働時間の定め

■36協定の締結

労働時間は労働基準法によって上限が定められており、労使の合意に基づく所定の手続きをとらなければ、これを延長することはできません。

【Point ①】

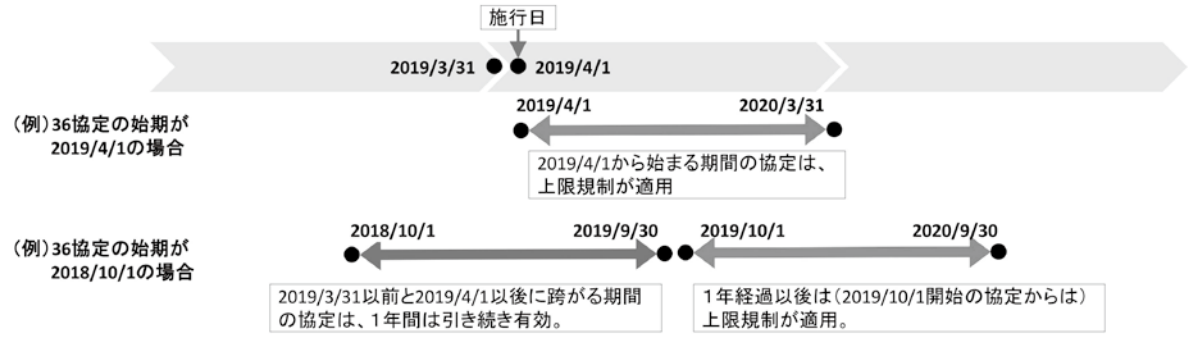
時間外労働・休日労働をさせるためには、36協定の締結が必要。

労働時間・休日に関する原則／法律で定められた労働時間の限度となる1日8時間、1週40時間、法律で定められた休日は毎週少なくとも1回でこれを超えるには、36協定の締結と届出が必要となります。

・労働基準法では、労働時間は原則として、1日8時間・1週40時間以内とされています。これを「法定労働時間」といいます。また、休日は原則として、毎週少なくとも1回与えることとされています。これを「法定休日」といいます。

・法定労働時間を超えて労働者に時間外労働をさせる場合や法定休日に労働させる場合には、労働基準法第36条に基づく労使協定（36［サブロク］協定）の締結、所轄労働基準監督署長への届出が必要となります。

・36協定では、「時間外労働を行なう業務の種類」や「時間外労働の上限」などを決めなければなりません。



上限規制の施行にあたっての経過措置

【Point②】

これまで時間外労働の上限は、大臣告示によって基準が設けられていました。

これまで36協定で定める時間外労働については、厚生労働大臣の告示（※）によって、上限の基準が定められていましたが、臨時的に限度時間を超えて時間外労働を行なわなければならない特別の事情が予想される場合には、特別条項付きの36協定を締結すれば、限度時間を超える時間まで時間外労働を行なわせることが可能でした。

（※）労働基準法第36条第1項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準（限度基準告示）

（※）Point①の労働時間・休日に関する原則は今回の法改正によっても変わりません。今回の改正によって、Point②のこれまで告示にとどまっていた時間外労働の上限が、罰則付きで法律に規定されました。

■改正内容（時間外労働の上限規制）

これまでの限度基準告示による上限は、罰則による強制力がなく、また特別条項を設けることで上限なく時間外労働を行なわせることが可能となっていました。今回の改正によって、罰則付きの上限が法律に規定され、さらに、臨時的な特別な事情がある場合にも上回ることのできない上限が設けられました。

【Point①】

時間外労働の上限が罰則付きで法律に規定されます。 さらに、臨時的な特別な事情がある場合にも上回ることができない上限が設けられます。

・今回の改正によって、法律上、時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別の事情がなければこれを超えることができなくなります。

・臨時的な特別の事情があって労使が合意する場合（特別条項）でも、以下を守らなければなりません。

〇時間外労働が年720時間以内

〇時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満

〇時間外労働と休日労働の合計について、「2か月平均」「3か月平均」「4か月平均」「5か月平均」「6か月平均」が全て1か月当たり80時間以内

〇時間外労働が月45時間を超えることができるのは、年6か月が限度

・上記に違反した場合には、罰則（6か月以下の懲役または30万円以下の罰金）が科される恐れがあります。

（※）特別条項の有無に関わらず、1年を通して常に時間外労働と休日労働の合計は、月100時間未満、2～6か月平均80時間以内にしなければなりません。例えば、時間外労働が45時間以内に収まって特別条項にはならない場合であっても、時間外労働＝44時間、休日労働＝56時間、のように合計が月100時間以上になると法律違反となります。

【Point②】

中小企業への上限規制の適用は1年間猶予されます。

・上限規制の施行は2019年4月1日ですが、中小企業に対しては1年間猶予され2020年4月1日からとなります。

【Point③】

上限規制の施行に当たっては、経過措置を設けています。

KONICA MINOLTA
Giving Shape to Ideas
スキルレスオペレーションを実現する
プロダクション印刷システム
インテリジェントクオリティオプティマイザー[IQ-501]※1により、色管理・表裏見当調整を自動化。印刷中も高品質を保つリアルタイム監視・補正機能や自動プロファイル作成機能、さらにリアルタイム自動検品機能※2も備え、スキルレスかつ最小限の工数で高品質な印刷物を安定提供できます。
Less human touch & Less human error
AccurioPress
C3080/C3080P/C3070
※1：オプション　※2：IQ-501の他に追加でオプションが必要です。
※写真はC3080にオプションを装着したものです。
リアルタイム自動検品機能搭載※2
高精度な検品を自動で行い、作業の省人化や品質トラブルの低減を実現します。
コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部
西日本営業統括部 営業1部
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F
TEL.052-229-4624　http://konicaminolta.jp/pr/odp

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

・施行に当たっては経過措置が設けられており、2019年4月1日（中小企業は2020年4 月1日）以後の期間のみを定めた36協定に対して上限規制が適用されます。2019年3月31日を含む期間について定めた36協定については、その協定の初日から1年間は引き続き有効となり、上限規制は適用されません。図参照

【Point④】

上限規制の適用が猶予・除外となる事業・業務があります（この項省略）。

■36協定で定める時間外労働及び休日労働について

■留意すべき事項に関する新たな指針

今回の法改正とあわせて、時間外労働及び休日労働を適正なものとすることを目的として、36協定で定める時間外労働及び休日労働について留意するべき事項に関して、新たに指針が策定されました。36協定の締結に当たっては、この指針の内容に留意することが必要です。

【Point①】

時間外労働・休日労働は必要最小限にとどめます（指針第2条）。

・時間外労働・休日労働は必要最小限にとどめられるべきものであり、労使がこのことを十分意識した上で36協定を締結する必要があります。

【Point②】

使用者は、36協定の範囲内であっても労働者に対する安全配慮義務を負います。また、労働時間が長くなるほど過労死との関連性が強まることに留意する必要があります（指針第3条）。

・36協定の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条の安全配慮義務を負うことに留意しなければなりません。

・「脳血管疾患及び虚血性心疾患等の認定基準について」（平成13年12月12日付け基発第1063号厚生労働省労働基準局長通達）において、1週間当たり40時間を超える労働時間が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が徐々に強まるとされています。さらに、1週間当たり40時間を超える労働時間が月100時間又は2 ～ 6か月平均で80時間を超える場合には、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強いとされていることに留意しなければなりません。

【Point③】

時間外労働・休日労働を行なう業務の区分を細分化し、業務の範囲を明確にします（指針第4条）。

・例えば、各種の製造工程において、それぞれ労働時間管理を独立して行なっているにもかかわらず、「製造業務」とまとめているような場合は、細分化は不十分となります。

【Point④】

臨時的な特別の事情がなければ、限度時間（月45時間・年360時間）を超えることはできません。限度時間を超えて労働させる必要がある場合は、できる限り具体的に定めます。この場合にも、時間外労働は、限度時間にできる限り近づけるように努める必要があります（指針第5条）。

・限度時間を超えて労働させることができる場合を定めるに当たっては、通常予見することのできない業務量の大幅な増加等に伴い、臨時的に限度時間を超えて労働させる必要がある場合をできる限り具体的に定めなければなりません。「業務の都合上必要な場合」、「業務上やむを得ない場合」など恒常的な長時間労働を招くおそれがあるものは認められません。

・時間外労働は原則として限度時間を超えないものとされていることに十分留意し、限度時間を超える場合でも、①1か月の時間外労働及び休日労働の時間、②1年の時間外労働 時間、を限度時間にできる限り近づけるように努めなければなりません。

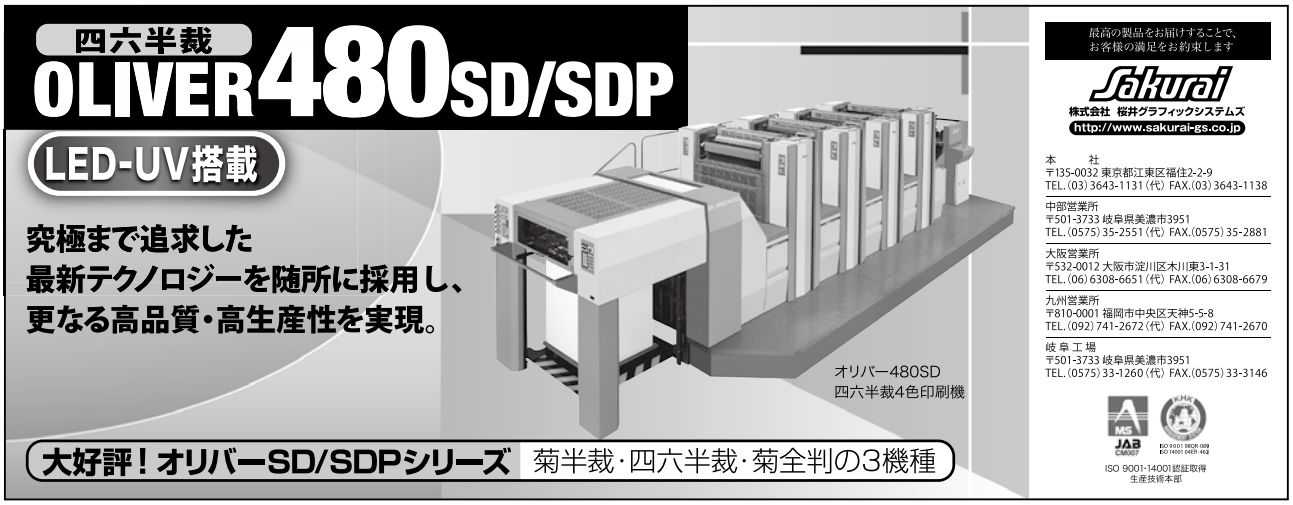
・限度時間を超える時間外労働については、25％を超える割増賃金率とするように努めなければなりません。

（※）限度時間を超えて労働させる場合、月末2週間に80時間、翌月初2週間に80時間、合わせて連続した4週間に160時間の時間外労働を行なわせるなど、短期に集中して時間外労働を行なわせることは望ましくありません。

【Point⑤】

1か月未満の期間で労働する労働者の時間外労働は、目安時間を超えないように努めます（指針第6条）。

（※）目安時間 1週間：15時間、2週間：27時間、4週間：43



時間。

【Point⑥】

休日労働の日数及び時間数をできる限り少なくするように努めます(指針第7条)。

【Point⑦】

限度時間を超えて労働させる労働者の健康・福祉を確保します(指針第8条)。

・限度時間を超えて労働させる労働者の健康・福祉を確保するための措置について、次の中から協定することが望ましいことに留意しなければなりません。

①医師による面接指導、②深夜業 (22時～ 5時)の回数制限、③終業から始業までの休息時間の確保 (勤務間インターバル)、④代償休日・特別な休暇の付与、⑤健康診断、⑥連続休暇の取得、⑦心とからだの相談窓口の設置、⑧配置転換、⑨産業医等による助言・指導や保健指導。

【Point⑧】

限度時間が適用除外・猶予されている事業・業務についても、限度時間を勘案し、健康・福祉を確保するよう努めます(指針第9条、附則第3項)。

・限度時間が適用除外されている新技術・新商品の研究開発業務については、限度時間を勘案することが望ましいことに留意しなければなりません。また、月45時間、年360時間を超えて時間外労働を行なう場合には、Point7の健康・福祉を確保するための措置を協定するよう努めます。

・限度時間が適用猶予されている事業・業務については、猶予期間において限度時間を勘案することが望ましいことに留意します。

※時間外労働の上限規制に関連する内容のうち「所定」と「法定」の違い、「労働時間の適正な把握 (労働安全衛生法の改正)」、及び「36協定で定める時間外労働及び休日労働について留意すべき事項に関する指針」については、次号に詳報予定。

機器管理者へお知らせ

フロン排出抑制法が改正

業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器を廃棄する規制強化

罰金(50万円)の適用対象

フロン排出抑制法の改正により、フロン類を回収しないまま機器を廃棄すると、即座に刑事罰(50万円以下の罰金)の適用対象となる。機器廃棄時には必ず充塡回収業者にフロン類の回収を依頼する。

廃棄物・リサイクル業者に業務用エアコン等の処分を依頼する際には、引取証明書 (充塡回収業者がフロン類を回収した際に発行する書面の写し)を渡すこと。

フロン排出抑制法の対象となる機器は、業務用のエアコン・ 冷凍冷蔵機器のうち、フロン類が使われているもの。店舗用エアコン、ビル用マルチエアコン、業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵用ショーケースなどがある。

機器を使用しているときは、保有する機器の点検を実施する(※簡易点検:すべての機器に対し、3 ヶ月に1回以上実施。定期点検:一定規模以上の機器に対し、1年又は3年に1回以上、専門業者に委託して実施)。

フロン類の充塡・回収は、都道府県に登録された第一種フロン類充塡回収業者のみ行うことができる。フロン類の漏えいが見つかった場合、修理なしでのフロン類の充塡は原則禁止。年間漏えい量が一定以上の場合、国に報告が必要。

機器を廃棄するときは、フロン類の回収を第一種フロン類充塡回収業者に依頼する。引取証明書(原本)は3年間保存。

■フロン法ポータルサイト

http://www.env.go.jp/earth/furon/

■問い合わせ

〇都道府県のフロン排出抑制法担当部局

http://www.env.go.jp/earth/ozone/cfc/ctr.html

〇環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 フロン対策室

TEL:03-3581-3351(内線6753)

〇経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 オゾン層保護等推進室　TEL:03-3501-1511(内線3711)

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“ 満足 ” を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社　www.toyoink.co.jp
中部支社　〒460-0002　名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F　Tel:052-218-7460

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

■愛印工組・後援“光文堂新春機材展”賑わう

最新情報をキャッチ

愛印工組が後援する新春恒例の光文堂新春機材展 Print Doors 2020 が、1月22日(水)、23日(木)の両日において名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて開催された。56回を数える今回は、過去最大規模の160社380小間の出展規模となり、内外から集められた優良機材を始め、技術やノウハウなど最新情報が発信された。

来賓として出席した愛印工組細井俊男理事長は、「印刷業において情報は命である。我々は新たな印刷物を作り上げていかなければならないが、その時に情報が無ければ何も進まない。展示会には、沢山の仲間がブースを出している。その中には我々が生きる道、商売のきっかけやヒントがある。これらを見て、聞いて、触れて話すことで自社のヒントが生まれていけば良いと思う」と述べた。、その後、テープカットが行なわれ機材展がオープンした。

会場は、初日から多くの来場者で賑わいを見せ、印刷工程全体を網羅する出展に、来場者は自社の未来への設備、ソフトウェアを探し、情報収集をした。また、コラボレーション展では各社の自慢のアイデア商品が公開された。

細井理事長(左から2人目)

■全印工連

印刷業界のための事業承継ガイドブック発刊

全印工連より、中小印刷会社にとって重要な課題である事業承継の啓蒙と課題解決を目的とした「印刷業界のための事業承継ガイドブック」が発刊された。

本書は、マンガやフローチャートを用いて事業承継の必要性と全体像をわかりやすく解説。仕組みを理解しながら自社の取り組むべき課題を見つけることができる。また、相続税の計算方法、自社株式の評価など具体的な取り組み方法を紹介。その他にも事業承継を実際に行なった組合員へのインタビューも収録している。経営者にとって実用的で事業承継をより身近なものと感じられる内容となっている。

【主な内容】

マンガ「事業承継、何もしないとどうなる？」／なぜ今事業承継なのか？／印刷業における事業承継の特徴／事業承継フローチャート／課題解決から見る事業承継（事前の株価対策で悩みを解決、第三者承継でハッピーリタイア、事業戦略としてのM&A）／事業承継実例インタビュー

◎ A4判128頁

◎価格：組合員3,060円(税込、送料別)、一般5,090円（税込、送料別）

◎問い合せ：愛印工組 TEL052-962-5771

INFORMATION DESIGN
(インフォメージョンデザイン)

全印工連では、メディア・ユニバーサルデザインの重要性が増す中 『メディア・ユニバーサルデザインガイドライン』(2009年1月発行) を2019年に改訂し、『INFORMATION DESIGN（インフォメーションデザイン)』として刊行した。同書は、A）理念編、B）理論編、C）実例編、D）資料編の4つに分類し、理解しやすい情報デザイン(情報保障)を実現するための方策を分かりやすく解説。障がい者、高齢者、外国人等への配慮など多様化するメディア・ユニバーサルデザインの理解と認識を高め、理解しやすい情報デザイン（情報保障)の実現に役立つ手引書となっている。

◎ A4判96頁

◎価格　組合員：3,000円（税別)、非組合員：6,000円（税別）※送料及び振込手数料は購入者負担。

◎問い合せ：全印工連 TEL03-3552-4751

編集だより

4月から働き方改革の一環として、中小企業においても「時間外労働の上限規制」が始まります。どのようなものか、厚生労働省の資料をまとめてみました。

あいちの印刷
No.580
令和2年3月10日発行
発行人　細井俊男
編集　組織・共済委員会
発行所　愛知県印刷工業組合
〒461-0001　名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL〈052〉962-5771
FAX〈052〉951-0569
◆ホームページアドレス http://www.ai-in-ko.or.jp/
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

2020/3　No580
〈付録〉

「あいちの印刷」誌上情報展

参加企業

(順不同)

16　●新日本印刷㈱
〒468-0065　名古屋市天白区中砂町 496
TEL052(832)6851　FAX052(832)6989

17　●リョービ MHI グラフィックテクノロジー㈱中日本支社
〒468-0034　名古屋市天白区久方 1-145-1
TEL052(807)1671　FAX052(807)1677

18　●㈱アクアス環境エネルギー事業部
〒460-0008　名古屋市中区栄 1-25-35
TEL052(220)5518　FAX052(220)5526

20　●富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ㈱中部支社
〒460-8404 名古屋市中区栄 1-12-17 富士フイルム名古屋ビル
TEL052(201)8171　FAX052(203)5164

22　●㈱ SCREEN GP ジャパン
〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目 12-14 MANHYO 第一ビル 7 階
TEL052(218)6400　FAX052(218)6411

23　●東洋インキ㈱中部支社
〒460-0002　名古屋市中区丸の内 1-15-20　ie 丸の内ビルディング 12F
TEL052(218)7460　FAX052(218)7465

24　●㈱光文堂
〒460-0022　名古屋市中区金山 2-15-18
TEL052(331)4111　FAX052(331)4691

26　●イトーテック㈱
〒484-0912　愛知県犬山市舟田 10-4
TEL0568(67)5311　FAX0568(68)0495

安心を明日につなぐ
火災共済
お問合せは愛印工事務局へどうぞ!!
((小さな掛金))
((大きな安心))

愛知火災共済協同組合

本 部　〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目10番23号　TEL 052 (251) 6281
（上前津KDビル内）　FAX 052 (251) 7273

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

新日本印刷株式会社

新日本印刷株式会社
〒468-0065　名古屋市天白区中砂町496
TEL：052(832)6851　FAX：052(832)6989
HP:https://www.s-pri.co.jp

■コミュニケーションをデザインするという仕事

カスタマーエクスペリエンスの考え方が浸透する昨今、印刷物の在り方も「モノからコトへ」転換する時期を迎えました。当社が得意とするカタログなどの販売促進物は、ただモノを探すだけのツールにとどまらず、お客様のコミュニケーションをつなぐアイテムへと変化を遂げ、紙からWebへ、そしてリアルへと誘導する役割を担うようになりました。そうした市場の変化を受け、新日本印刷は社内にクロスコミュニケーション部（CC部）を創設し、様々なメディアを組み合わせたコミュニケーションのデザインを提供できる環境を整えました。2019年11月のメッセナゴヤでは、カタログ制作のノウハウとデータベース構築を融合させ、業務改善を提案する「カタログサプリ」、クロスメディアで採用活動を支援する「リクルートサプリ」の2本立てで出展し大きな反響を呼びました。

メッセナゴヤで
配布したパンフレット

■強みであるカタログ制作から生まれた「カタログサプリ」の開発

創業当時からカタログ制作を強みとして成長してきた当社にとってカタログをデータベース化する仕組みは、以前からご提案のメニューとして存在していました。しかし、それは一部のお客様からのリクエストであり、積極推進の対象ではありませんでした。今回メッセナゴヤで発表した「カタログサプリ」はカタログ制作で発生したソースを活用してデータベースを構築し、カタログを実際に使用してくださる、商社様や営業マンの受注活動を支援する業務改善システムです。目当ての商品を複数チョイスし、提案書や見積書などにアウトプットすることで、その先のお客様とのコミュニケーションにお役立ていただけます。もちろんECサイトとして展開することも可能で、複雑な日本の流通システムに課題を感じていらっしゃるお客様へのソリューションとしても有効打となります。データベース構築の際には、CMSを組み込むことで、お客様自身で商品の登録や削除することが可能となり、生きたシステム運用が実現します。これによりアウトレット品の設定や、数量限定商品、季節商材など、従来のカタログ制作では掲載を見送られてきた商品群にもスポットを当てることができるようになりました。

■自社の採用を強化するために作り上げたコンテンツをパッケージ化

「リクルートサプリ」は売り手市場による採用難を打開し、自社の採用活動を有利に進めるため、「新日本印刷はたらき方改革宣言」と共に進めたプロジェクトから誕生しました。社員のワークライフバランスを見直すことから始まった働き方改革は、年間の休日を104日から130日に増加させ、有給休暇の付与を入社と同時にするなどの施策を実施、更には残業抑制策へと繋げ、自社のスペックを上げることに成功しました。こうしてできた施策と、それを実践することから生まれる社員のワークバランスの改善を冊子、Web、動画へ展開させ、リクルートプロモーションを行いました。これにより、リクナビのPV数は230％増、エントリーは前年の629件から1153件へ180％増加し採用予定人数をクリアすることができました。この当社の成功体験をパッケージ化したのが「リクルートサプリ」で、これまで新日本印刷とお付き合いのなかった多くのお客様からも大きな反響をいただきました。

パンフレット、Web、動画を活用した新日本印刷の採用プロモーション。「リクルートサプリ」

14thメッセナゴヤ2019新日本印刷のブース

■メディアをミックスしたクロスコミュニケーションの在り方

「カタログサプリ」と「リクルートサプリ」は、商業印刷を生業とする当社の今後の道筋を定める過程で生まれたクロスコミュニケーション部（CC部）が大きな役割を担いました。お客様の販売促進を俯瞰し、最適なメディアのご提案をすることを標榜し創設されたCC部は、デザイン、撮影、動画、Web、データベース、パッケージ、ディスプレイ、商品開発などを守備範囲とするにとどまらず、それぞれのメディアやアイテムを結びつけながら、最大の販売促進効果を創出することを目的としています。

■カタログ＋動画で販売促進

スマートフォンの普及やSNSの発達に伴い動画需要は増え続けています。比較的早い段階で、動画制作を得意とするスタッフを採用したことで、今では得意分野と位置づけるまでにいたり、新たなお客様との出会いのきっかけとなったり、既存顧客との関係強化につながっています。紙面に限りのあるカタログでは表現しきれない商品の動きや、アピールポイントの訴求にはQRコードから動画へと誘導することが、大きな効果を発揮します。

こうした販売促進の多面的融合こそが、新日本印刷の強みとなり、厳しい状況が続く商業印刷の世界で、選ばれ続ける存在でありたいと願います。

リョービMHIグラフィック
テクノロジー株式会社中日本支社
〒468-0034 名古屋市天白区久方1-145-1
TEL052(807)1671　FAX052(807)1677
http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

RMGT

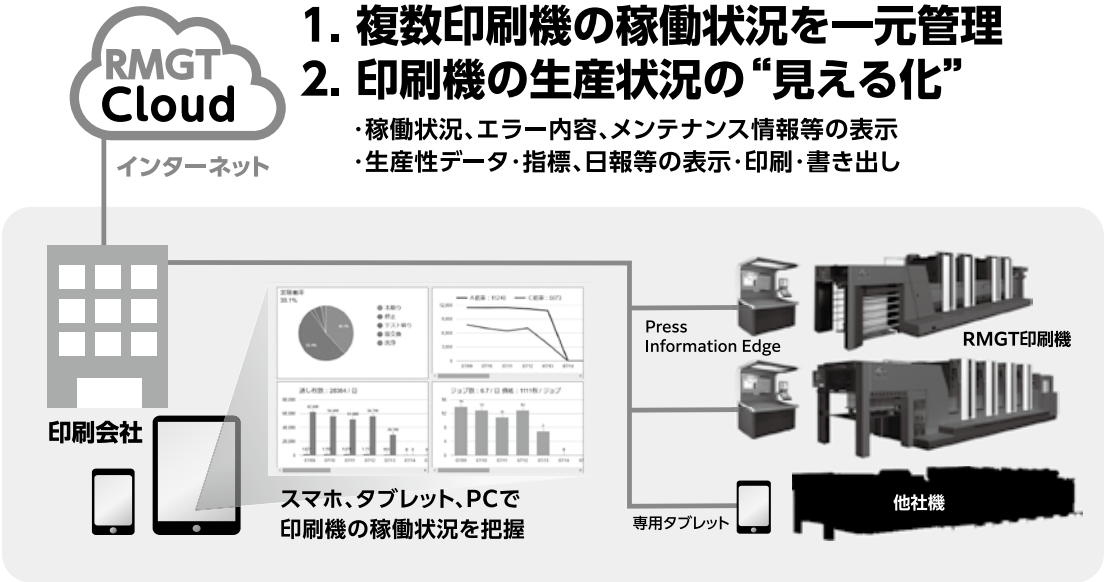
“Assist Your Potential”をテーマに、
（技術力と創造力であなたの可能性を支援する）
自動化、見える化、サポート強化

印刷業界を取り巻く環境は、若年層の人手不足や熟練技能者の退職に加え、短納期対応や品質管理に対する要求が厳しさを増し、生産性の向上や人材の育成等が課題となっています。

RMGTでは、「“AssistYourPotential（技術力と創造力であなたの可能性を支援する）”」をテーマにIoTやロボットの技術を活用し、自動化、見える化、サポートを強化する開発を進めています。新しい技術を取り入れ、人が中心となって使いこなすことにより生産性を向上させ、短納期への対応や高い印刷品質の実現が可能になると考えています。

こうした当社の取り組みの一例として、印刷工程を見える化し、生産性向上をサポートする「プレスインフォメーションクラウド」をご紹介します。工場内の複数の印刷機をネットワークにつなぎ、機械の停止、洗浄、版交換などの稼働状況や生産性データ・指標をインターネットのクラウド上に自動で集約して一元管理します。印刷機ごとの稼働時間やA能率、C能率、損紙などのデータを抽出することができますので、お客様はそれらのデータを分析することで、課題を明確にして生産性向上のための現場改善に取り組んで頂くことができます。また、消耗品交換時期やメンテナンスの周期を登録しておけば自動でお知らせしますので、高い品質と生産性の維持にも寄与します。

RMGTはこれからも新しい技術を取り入れ、お客様や各種資材メーカー等のパートナー企業の皆様と一緒に技術、知恵、経験を結集していくことで、印刷現場の困りごとに真正面から取り組み、技術力と創造力で人を援(たす)け、印刷会社それぞれの強みが発揮できるように、アシストしていきます。



リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社　〒468-0034　愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1　TEL 052-807-1671　https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

環境負荷低減・省エネルギーと労働環境の改善のご提案

■水銀に関する水俣条約（環境エネルギー事業部）

国際条約である「水俣条約」によって規制値を超える水銀を使用した照明は、2020年までに製造と輸出入製造が禁止されます。

照明に関して具体的に言うと古いタイプの水銀灯（HやHFで始まる型番）になります。これらは規制対象となり製造や輸出入が禁止されます。新しいタイプのメタハラやセラメタやナトリウム灯は水銀使用量が規制値以下なのでOKになります。また皆さんが事務所や工場や家庭で使われている蛍光管については、現在流通している製品のほとんどが規制値以下になっており、今後も製造や流通は可能です。

しかし現実的には照明の製造メーカーは規制を逃れている製品の製造も次々に製造中止にしています。

□照明のLED化

照明のLED化は世界的な流れになっており、従来からの蛍光管や水銀灯の製造は縮小傾向が止まりません。生産が減れば次は価格が上がります。例えば、一般的に事務所などでよく使用されている40W直管型の蛍光管では、かつては1本400円以下で購入できた時期もありましたが、現在では800円から1,000円という値段が付いています。ちょっと特殊な蛍光管はもう入手不可というケースも珍しくありません。

更に深刻なのは、水銀を含む製品の廃棄です。水銀含有製品の処理ができる業者は限られており、LED照明への交換や水銀廃棄の規制が強まったことで、水銀廃棄需要が高まり処理が追い付かない状況になっています。産廃業者によっては、新規客は全て断るという姿勢を取っています。処理費用も数年前と比較すると随分と上がっており、今後更に上がると予想されます。

また、将来的には水銀の廃棄はPCB（ポリ塩化ビフェニル）のようになると予想されます。照明などの工事をして（古い照明器具にはPCBが使われていました）、社内でPCB処理の必要が出てくると大変大きな負担となってきます。届け出が必要であったり処理も煩雑です。またこれらの処理費用は現在では数十万円から数百万円となっています。現在、環境負荷の低減が企業の重要な責務となってきており、排出企業にとって今後は水銀処理にも大きな負担が掛かってくると考えられます。これらの理由から大手企業では一斉に照明をLED照明に交換するという事も珍しくありません。

みなさんご存知のようにLED照明に交換することによって、使用電気量は半分以下になります。電気代の削減にもなりますし、CO2削減にも寄与します。点灯時間や照明器具の数量にもよりますが、今までの実績では電気代で年間数十万円の削減も可能となっています。

上記のような理由から早目のLED照明への交換が望まれます。まだ水銀灯や蛍光灯を使用されている企業様はぜひ当社にご相談下さい。専任部署の担当が最適なプランをご提案させて頂きます。

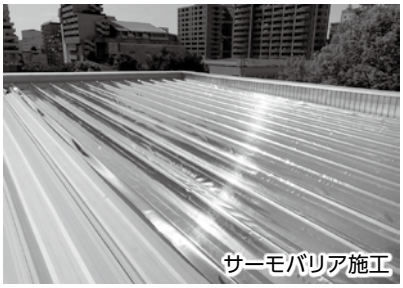
■猛暑対策と環境対応に遮熱シート「サーモバリア」(環境エネルギー事業部)

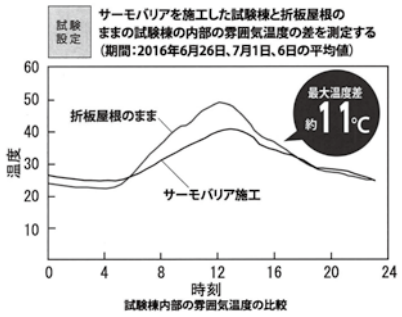
屋根の遮熱といえば塗料が一般的ですが、弊社がご紹介するのは遮熱シートです。

昨今は、温暖化の影響か、夏の暑さも尋常ではなくなってきています。工場や倉庫の屋根（折板屋根）の温度は80度以上に達する事もあり、職人の靴底が溶けるほどの熱さになります。当然建物全体にも影響し、日が暮れても建物にこもった熱はなかなか下がりません。

サーモバリアを貼ることで熱さの原因である太陽からの「輻射熱」を97%カット。屋根の温度の上昇を防ぎ、労働環境の改善や製品の保護にも役立ちます。エアコンを使っている環境であれば冷却効率が上昇し、空調に掛かる電気代を約30％節約することができます。塗料ではどうしても塗りムラが出てしまいますがシートを貼るので効果が均一で耐久性も高いことから経年劣化も大幅に改善でき、施工時間も短縮できます。環境によって大きく変わりますが、室温を約10℃下げる効果が期待できます。そして折板屋根のジョイント部をシートで覆ってしまうので、雨漏り防止という二次的な効果も期待できます。

近年、デマンド監視装置を付けている会社さんも多くなりました。ある会社さんでは、毎年夏、昼間になるとエアコンがフル稼働し、デマンド警報が鳴っていたのですが、サーモバリアを貼ってからは警報が鳴らなくなったと驚きの声も出ています。このような夏季のエアコンの節電効果はもちろん、冬は建物内の熱を逃がしにくくなるので保温効果も期待できます。暑くなってからでは遅いので、対策を取るのであれば春が最適です。ご興味を持たれた方は、お気軽にアクアスに声をかけて頂ければすぐにお見積りを致します。地域によっては注文に工事が追い付かず、お客様をお待たせしているケースもあるようですので、お早めの対応をお勧めします。





サーモバリアの効果

「足元から明るくする」床再生プロジェクト

■お客様の足元の改善商材

「無溶剤 UV コーティング / Tosk リメイク舗装」

■無溶剤UVコーティング施工（企画営業部）

工場や事務所の床面のお悩みを解決する新商材をご紹介致します。工場、事務所などの床の現状とは、「5S活動を掲げているが、清掃時間と手間がかかっている」、「油汚れ、フォークリフトのタイヤ痕、ヒールマークなどによる床塗装面の剥がれ、薬品等による床塗装面の傷み」、「床塗装面の滑

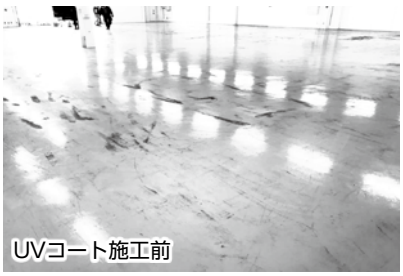
株式会社アクアス
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目25－35
環境エネルギー事業部
TEL052(220)5518　FAX052(220)5526
https://www.axuas.jp/

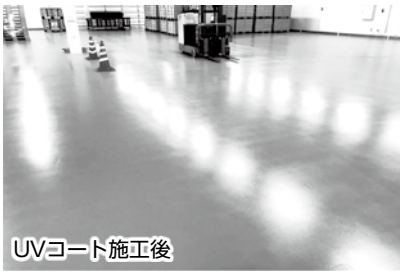
りで困っている」など、何らかの床のメンテナンスを行っているが、強度が無くて、非常に汚れやすいため手間がかかっている。結果的に、きれいな床を維持できない上、汚れ易くなっている状況です。

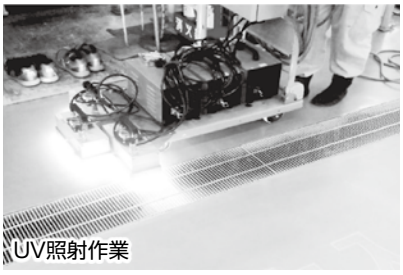
今回、ご紹介の「無溶剤UVコーティング」は、耐薬品性･耐傷に対して高耐久性を持ち、無溶剤タイプの為、有機溶剤特有の刺激臭がなく、引火性がなく安全です。

工場のエポキシ塗料や店舗施設などの化学床･石材･長尺シート等幅広い基材に高密着します。用途において、「ツヤ有りタイプ」・「ツヤ消し防滑タイプ」を選択可能です。施工時間は、紫外線照射により、数秒で完全高速硬化しますので、稼働時間の停止を最短時間にて完了できます。施工後は、傷もつきにくく、汚れも簡単に拭き取る事ができますので、現行の定期的なワックス施工は無用となりますので、コスト削減ができ、施工後のお手入れも簡単になります。

工場の新設・増設をご予定の方、工事の時間が取れない方、床面のリメイクをお考えの方、お気軽にお問合せ下さい。性能比較、施工実績等の資料もご用意しておりますので、ご用命下さいませ。


UVコート施工前


UVコート施工後


UV照射作業

■Tosk カラーサンドコート(防滑セラミック舗装)/ストーンコート(透水・排水性舗装)(企画営業部)

カラーサンドコートとは、既設の床材を撤去せずに直接施工が出来る商材で、全く新しい混合部材です。陶磁器技術によるセラミックカラーサンドを使用することで高強度、高耐久性、優れたデザイン性を実現し、空隙性能による防滑効果を発揮します。

Toskストーンコートも、既設の床材を撤去せずに直接施工が出来る商材です。仕上げ材も全く新しい混合部材です。駐車場などの車両乗り入れ部分にも対応し、多彩な天然乾燥砂利で、優れた景観、デザイン性を実現。高耐久、高強度で透水性能による防滑効果も高い防滑カバーリメイク材です。

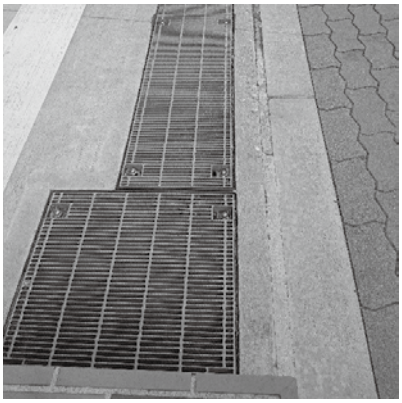
混合部材とは特殊繊維混合エポキシ系接着剤で、セラミック系合成繊維により、強固な接着性と骨材を点どうしで接着しているため、空積率が大きく排水性に優れかつ骨材も剥がれにくい構造となっています。

Toskコートは、既設の床材を撤去する必要がありませんので、工期短縮、コスト削減、騒音、粉塵ゼロの特徴をもっております。

■ステンレス製　透水化粧蓋(側溝用/集水桝用)(企画営業部)

従来のグレーチングのようにスチールの格子目で排水するのではなく、砂利の空隙から排水します。特殊ファイバー（特殊繊維混合エポキシ系接着剤）で砂利を固め、それをステンレスの枠に流し込みます。一見して溝蓋の表面に隙間がなくなるように見えますが、砂利と砂利の隙間を埋めることなく、高い結合力を保つ特殊な接着性で、水を流しごみの流れを防ぎます。また、軽量なので人の手で持ち運びができ、人力での施工が可能です。それによって、かかる手間や費用が軽減し、コストパフォーマンスがよくなります。また、溝幅は100mm程度でスペースのない範囲でも施工できます。また、深溝タイプもありますので、排水流量も問題ありません。ステンレス製透水化粧蓋の天然石の仕上がりが景観を引き立たせます。安全性として、従来はハイヒールでのつまづきやベビーカー、車椅子等が安全に通行でき、天然石を使用することによって、歩行の際の滑りも軽減できます。ステンレス製フレームを使用しておりますので、安全性と高い耐久力を持ちます。また、透水性化粧蓋表面が閉鎖されているため、害虫やネズミなどの侵入を防止し、繁殖場所としての機能を果たせず、病原体の発生を予防します。

種類として、一般溝用と集水桝用のステンレス製透水化粧蓋をご用意しており、ご要望があれば設計・製作のご相談を承ります。


従来のスチール製グレーチング

ステンレス製　透水化粧蓋

ステンレス製　透水化粧蓋/Toskコート関係製品は、一般社団法人　透水技術安全協会の認定および推奨商品となります。

建築材料･住宅設備総合展KENTEN2019において、優れた製品・技術を社会に発信し施工技術向上に寄与したとして、特別賞を受賞致しました製品です。

【問い合わせ先】
㈱アクアス
□環境エネルギー事業部
TEL:052-220-5518
□企画営業部
TEL:052-220-5511

FFGSのテーマは
『昨日までの営業スタイルを変える。』

市場ニーズの多様化 、小ロット・短納期化が急速に進む中で印刷ビジネスを成長させていくために、これからの印刷営業には、日頃のルーチンワーク的な作業を見直し、企画提案のための時間をつくることが必要になります。FFGSでは、営業力強化のヒントをご提供するため、印刷会社の営業担当の方々にお聞きした、「目指している営業スタイル」や具体的な取り組みをご紹介します。さらに、皆さまの「新たな営業スタイル」を支える製品群を、「働き方改革(WSI)」「環境(ECO)」「拡張性(Expansion)」の3つの切り口でご提案します。

■ FFGS のお手伝い

2020 年という節目の年に、印刷会社各社がどのような取り組みを始めるのか。デジタルメディアと印刷メディアを融合する、あるいはデジタルメディアでは出来ないことを印刷メディアで実現する。さまざまな提案を印刷会社自らが行っていくために、FFGS はどんなお手伝いができるのか、営業スタイルを変えて好調な業績を挙げている、3 社の印刷会社の事例をご紹介します。

■ 3 社の事例

①福井県のエクシート様では、顧客の課題やその背景を知ることの重要性に早くから着目し、営業スタイルの改革を 2017 年からスタート。営業が帰社してからの社内作業を移動中や待ち時間に行うことで、4 時間の時間短縮を実現。並行して営業教育を進めることで、顧客の経営課題に踏み込んだ提案が出来る体制を作りました。顧客のキーマンから「エクシートさんて、こんな会社だったっけ？」と言われるような変貌を遂げています。

②帯広市の東洋印刷様でも同様に営業スタイルの改革に取り組みました。とくに 100 社近い取引先とのオンライン校正が大きな武器になっており、自社の Web サイトを充実させて新規受注を呼び込む営業スタイルとともに、同社を特長付けています。

③一方渋谷区の千葉印刷様では、自社の店頭窓口で顧客と直接コミュニケーションをとる営業スタイルです。デジタル印刷を武器に、店頭での顧客の依頼に即座に印刷サンプルで応える体制を作っています。「千葉印刷は期待以上の提案をしてくれる」という評判が口コミで広がり、様々な分野の新規受注を獲得しています。

■ FFGS が自ら印刷発注者への提案を実践した例を紹介します。

デジタル印刷のショールームを見学したことがきっかけで、実在のオペラ歌劇団『Kamite(カミテ)』の集客提案を行うことになりました。実はこの提案は現在進行形で、まさに 3 月の公演に向けて様々な提案活動をしているところです。「オペラファンが高齢化しており、若い世代を集客できていない。Facebook や Twitter でプロモーションはしているが、ネットで話題になることと、実際に劇場に足を運ぶことは違う」という歌劇団の課題に対し、別の機会に知り合った美大生をマッチングして提案を行いました。印刷物で実現できる様々な可能性に対し、歌劇団の女性演出家のインタビューが印象的です。「チケットがすごくかわいくて。舞台の印象がここまで表現されているチケットは見たことがない」「今までは自分で作ったチラシの原稿をネットで入稿するだけ。このような印刷の可能性を相談する機会がなかった」。私たちが提案しているサンプルを展示し、一部は実際に出力もしましたが、それらの効果測定を 3 月の公演で行います。

オペラサンプル-1

オペラサンプル-2

オペラサンプル-3

富士フイルムグローバル
グラフィックシステムズ株式会社中部支社
〒468-8404　名古屋市中区栄1-12-17
富士フイルム名古屋ビル
TEL：052(201)8171　FAX：052(203)5164
HP:http://ffgs.fujifilm.co.jp

■印刷会社の営業スタイルを変革するソリューション

続いて『page2020』での展示の報告です。

ブース内を3つのゾーンに分けて、私たちのソリューションをご紹介しました。

①Work Style Innovation Zone
～時間を創出する～
②Expantion Zone ～受注拡大を図る～
③Ecology Zone ～営業活動支える～

■Work Style Innovation Zone
～時間を創出する～

印刷営業が、既存顧客の売上アップや新規顧客を獲得するために必要な時間を創り出すソリューションを提案しました。Webを活用し、印刷会社とクライアント、デザイナーを繋ぐことで、タイムリーなコミュニケーションを実現し、印刷営業の移動時間や回数を大幅に削減できる『XMF Remote』。

名刺やパンフレットなどの印刷注文をWebで行ない、煩雑な受注業務を省力化する『iAutolay Magic』。MISと連携し、ジョブの進捗確認や工程ごとの利益確認が可能な『Production Cockpit』や『PHOENIX』『Form Magic5』など来場者の課題や関心事に合わせたデモンストレーションを行いました。

■Expantion Zone ～受注拡大を図る～

デジタル印刷を活用し、受注した印刷ジョブに「関連商材」や「付加価値をプラス」した提案の実施、「新規商材で事業拡大」を実践している印刷会社様の事例を実サンプルの展示と、その目的や効果を動画により紹介しました。

クリエイターと印刷現場が直接意見交換することで、クリエイターの期待通りの色再現をJetPressで実現。印刷現場をクリエイター同士のネットワークを広げる場としての活用を進めている加藤文明社様。「JetPressの鮮やかな色再現を見よ」をキャッチコピーに、RGBの鮮やかな色再現と小ロット出版により、出版業界の常識を変えていく今井印刷様の事例を紹介。紙メディア以外の事例やサンプルも多数展示しました。

軟包装用UVインクジェットデジタルプレスを活用し、イベントやマーケティングなどの用途に応じた限定デザインや複数デザイン提案などの小ロット対応を武器に、受注拡大と新規顧客獲得を図っているニットーパック様と北四国グラビア様。ワードフォーマットUVインクジェットを導入し、ウィンドウフィルムや化粧シート、電飾広告の製作を内製化し、提案型の営業活動へシフトしているイルカ様やトライ様、シルクスクリーン印刷で製作する工業製品の試作品作成に活用している東光工業様の事例も紹介しました。

■Ecology Zone ～営業活動を支える～

自動現像機のメンテナンスから解放される無処理版の活用や刷版以降のオートメーション化による工数削減と印刷品質の安定化を実現し、印刷会社の生産現場の働き方改革を実現、CSR向上にも寄与するソリューションを提案しました。

安定した印刷品質の提供と高い環境対応に大きく貢献する『完全無処理プレートZD-Ⅱ/ZP』と印刷品質管理ソリューション『GA Smile Navi』。多品種・小ロット・短納期対応と省力化に効果を発揮する『刷版ラインの自動化ソリューション』を紹介しました。

■来場されたお客様の声

最後に、富士フイルムブースにお越しいただいた皆様の声をご紹介します。

まずは営業のどこに負荷が掛かっているか実態を把握するところから始めたい。／移動がムダな時間という意識が薄いため、意識改革から始める必要があると感じた。／あえて手間を掛けることが評価され差別化につながっている場合もある。／提案のノウハウが無いので、サンプルコーナーは参考になった。／POPやノベルティなどの新規ビジネスを考えていきたいと思っている。

当社の提案や展示への賛同も有れば異なる意見も有りました。これらの貴重な意見を受け止め今後の提案に活かし、営業スタイルの変革をはじめ新規ビジネスの検討など、印刷会社様の新たな取り組みにお役立ちできればと思います。

メインデモ

ビジネスサンプル

株式会社 SCREEN GPジャパン

※株式会社メディアテクノロジー ジャパンは、2019年4月より、
株式会社SCREEN GP ジャパンに商号を変更しました。

株式会社SCREEN GP ジャパン
〒460-0003 名古屋市中区錦2-12-14
MANHYO第一ビル7F
TEL：052-218-6400　FAX：052-218-6411
https://www.screen.co.jp/ga/

「SMART SHIFT」～明日から取り組めるスマート提案～！

「IoT」「AI」「ロボティクス」「5G」などの技術革新が進む中、人と機械が協調しデジタル技術をフルに活かすことで自動化・省力化を進め、SMART FACTORYへシフトすることが重要です。各工程において「明日から取り組める」をテーマに最新機器をご提案します。

●校正業務の効率化とクライアントとの関係強化を実現するWebポータルシステム「EQUIOS Online」

ブラウザ上でデータ入稿、プリフライトチェック※、校正・承認、検版※（※オプション）の運用をサポートするオンライン校正システム。従来のメールや電話、校正紙などによる煩雑な校正業務を統一することで、作業負担を軽減。さらに、校正状況・履歴を関係者間でリアルタイムに共有できるなど、進捗管理も容易。入稿や校正の作業漏れもなくします。オンライン校正により創出した時間を企画に充てるなど、営業活動が変わり、クライアントの囲い込みも実現できます。

●プレート搬送自動化システム「CTP Transporter」

刷版出力工程における「ジョブ情報記載」「版曲げ」「仕分け」などの作業を各ユニットでシステム化。人が介入する作業を極力削減し、自動化を実現します。

●CTPプレート ジョブ情報印字システム「CTP Trans-marker S」

CTPから出力された刷版に、「EQUIOS」からダイレクトにジョブ情報を自動印字することで、記載ミス、刷版取り間違いなどのヒューマンエラーをなくし、印刷事故を未然に防止。環境対応版の省力化などに大きな効果を発揮します。

●本紙校正用インクジェットプリンター「Proof Jet F1100AQ」

印刷本紙にアンカーコートなしで直接印刷できるインクジェットプリンター「Proof Jetシリーズ」のハイスピード自動化モデル。C、M、Y、K、Lc、Lm、Lbkのインクを搭載し、商業印刷に対応。コート紙・マット紙・上質紙・ファンシーペーパーなど、各用紙の風合いを生かしたリアルな校正が可能です。さらに、自動給排紙を標準装備し、出力解像度1,200×900dpi、菊全判サイズで最大約11枚／時※の生産性を実現。また、カラーマネージメントシステム「Lab Proof SE」により1bitTIFF運用ができ、高解像度で網点を再現します。

※印刷データ、用紙の種類に応じて変わります。

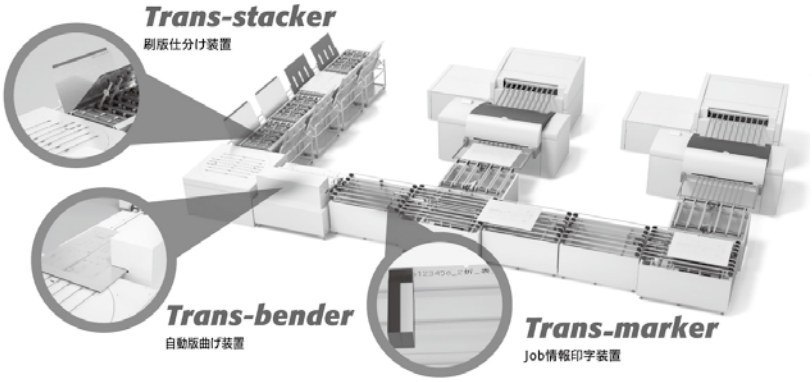
Proof Jet F1100AQ

●A2ワイド対応 ロールタイプ デジタル印刷機「XEIKON9800/9600」

オランダのXeikon社が開発した電子写真方式デジタル印刷機。後加工装置を組み替えることで、用途に応じてロールtoロール、ロールtoシートの構成が可能。

装置内のインライン濃度計が定期的に濃度をチェックし色補正するため、高い色安定性を維持します。また、オイルレストナーの採用により、テカリが少なく、文字物でも読みやすい印刷が可能。印刷解像度・線数は、最高1,200×3,600dpi・240lpi。マイクロテキストを使用すれば、印刷物に偽造防止などのセキュリティー機能を付加することも可能。

さらにXEIKON9800（5C/5Cモデル）は、CMYKに加え5色目ユニットを搭載できるため、特色トナーの利用で、白＋カラー印刷やブランドカラーなどの再現もできます。



CTP Transporte

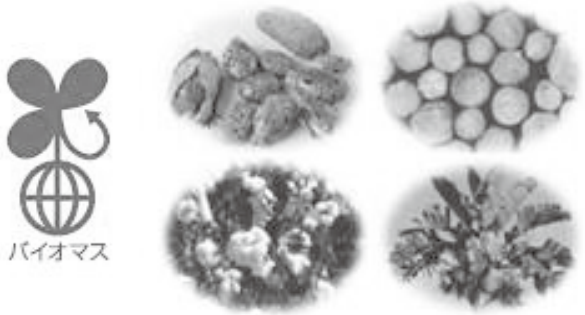
XEIKON9800

東洋インキ株式会社中部支社
〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20
ie丸の内ビルディング12F
TEL052(218)7460　FAX052(218)7465
http://www.toyoink.co.jp

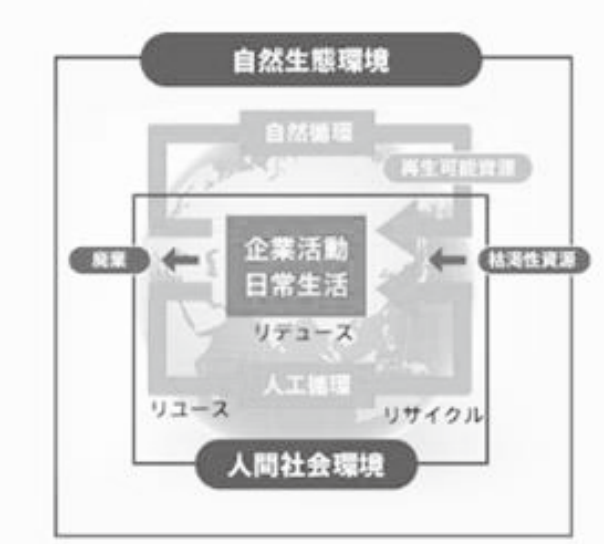
TOYOINK

【バイオマスマーク認証】

バイオマスマークとは、バイオマス原料を利活用し、品質及び関連法規、基準、企画などに合致していることを一般社団法人日本有機資源協会によって認定された環境商品の目印です。



バイオマス原料は生物由来のため資源枯渇の心配がありません。特に植物由来原料使用製品では、植物が、成長段階で光合成により大気中のCO2を吸収しており、製品使用後に、燃やしても大気中のCO2の増加に繋がりません。(カーボンニュートラル)



この特性から、バイオマスマーク認定製品は安全で循環型社会の形成に役立つことを表しています。

中でも植物由来バイオマス製品による地球温暖化防止効果は高くなっています。

【東洋インキの取り組み】

東洋インキグループではオフセット、グラビア、フレキソの主要3印刷方式の全てにおいて、バイオマスインキを投入し、暮らしに身近な、食品・日用品等の包装や各種印刷物を通じたサスティナブル社会実現に向け貢献しております。

さらに、包装分野に関しては印刷インキのみに留まらず、ラミネート接着剤、ホットメルト粘着剤においても、バイオマス製品をラインアップし社会課題の解決に貢献しております。

主な用途	品名	バイオマス登録
フィルムラミネート用	LPバイオ	160011
フィルム表刷り用	PANNECO®シリーズ	160016
フィルム表刷り用	レアル® NEX BOシリーズ	170003
重袋フィルム表刷り用	PEK	170002
ポリラミ紙、液体容器用	UP TOPシリーズ	170005
一般紙器用	エコカラー®HRシリーズ	170004
紙器トップコート	MFT8G NT OPワニス M1	170018
処理PE表刷用	FB キングXシリーズ	170024
一般紙器用	アクワ® PKバイオシリーズ	170030
シート段ボール用	アクワ コンテ® Kバイオシリーズ	170031
軟包装パッケージ用接着剤	ECOAD® EA-N5050＆EA-N6050	170006
	ECOAD® EA-B3110＆EA-B1210	170007
PETボトル用胴巻ラベル	ラベルメルト® BL-8603KC	140014
	ラベルメルト® BL-8603C	140015
包装用、紙袋用	FLASH DRY® カルトンBIOシリーズ	180032
カタログ、チラシ、雑誌など	TOYO KING® NEX(NV)シリーズ	100013
	WEB DRY® レオエックスシリーズ	100014
	※FLASH DRY® HBエコーBIOシリーズ	170032

耐摩傷性比較データ

詳細の情報は下記URLをご参照ください。
https://www.toyoink.jp/ja/solution/biomass/

お問い合わせ先
東洋インキ株式会社　中部支社インキ営業部
TEL：052-218-7461　FAX：052-218-7465

■KBDブランド新製品多数公開

印刷機資材の総合商社㈱光文堂は、創業以来70余年の実績とノウハウを活かし、北は北海道、南は沖縄に至る23の拠点を足掛かりに、全国津々浦々の印刷及びその関連会社様の活動をサポートさせていただいております。今年1月に開催しました新春恒例の「光文堂新春機材展Print Doors2020」では、過去最大の規模での開催となり、全国から連日大勢の皆さまにお越しいただき、大変な賑わいを見せ大盛況に終えることができました。ご来場いただきました皆さまに誌上をお借りし厚くお礼申し上げます。新春機材展では、出展各社から優れた製品と共に最新情報の提供がありました。当社からも数多くのKBDブランドの新製品を公開させていただきました。今回、「あいちの印刷」誌上情報展をお借りし、公開いたしましたKBDブランドの数々を紹介させていただきます。

コンパクトサイズトムソン機械
『KBD Nukky600』
（上）

■ブランキング装置
『KBD Mussy950』
（下）

■レーザーダイカット装置
『KBD Pro-vision 330RⅡ/340SⅡ』

レーザー加工は、高いランニングコストを必要とせず、デジタルデータによる利便性を活かした新製品開発・リピート対応に大きく貢献できる手法である。

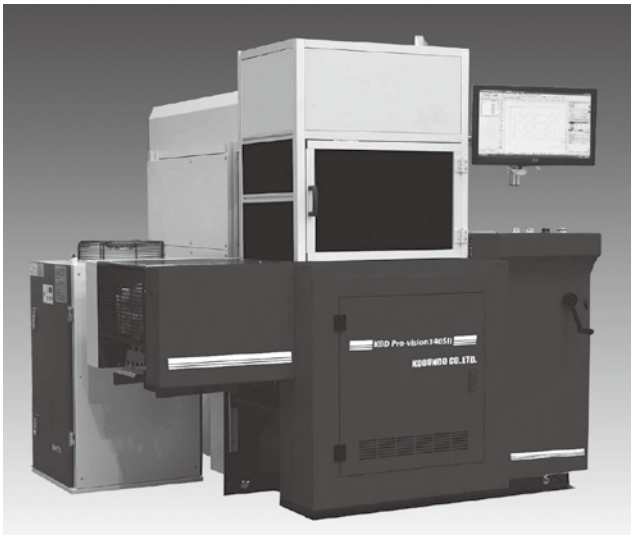
KBD Pro-visionシリーズは、シート紙対応の340SⅡ・ロール紙対応の330RⅡともに、高度に設計された構造と誰でも扱いやすい操作性でオペレーターを選ぶこともない。また、短い準備時間での生産も可能で、小ロット・多品種・短納期も実現。微細加工や非接触加工など、KBD Pro-visionシリーズは、これまでにないモノを生み出す新しいレーザーダイカット装置の誕生である。

■コンパクトサイズトムソン機械
『KBD Nukky600』

今までは、大は小を兼ねる大型平盤打抜き機が主流であったが、これからは小ロット・多品種需要であるオン・デマンド印刷の後加工に適した、コンパクトで省スペース設置が可能で、仕事に応じたサイズの機械が生産性を高める。KBD Nukky600は引き出し型の刃型取付・取換えは簡単に行なえ、作業時間の短縮を可能とした。また、操作盤も出来るだけシンプルにする事でミスを防ぎ、オペレーター作業を軽減させる。耐久性にも優れ、最大、時間6500枚を誇るこの機械が今後のニーズに必ず応じる。

■ブランキング装置
『KBD Mussy950』

トムソン加工後のムシリ作業において、今までの手作業から機械作業にする事でスピードと生産性アップに貢献するブランキングマシンの登場。旋回式ブランキングシステムの採用により入れ咬にも対応しながら小スペースでの設置が可能となった。更に引出し式セット替と各部の安全センサーによりセット時間の短縮化、最大限の安全作業環境の充実を図った。機械の内部に不要な部分を残し製品だけを輩出できる構造やタッチパネル方式(日本語)でオペレーターも簡単に操作ができる。ロボットも標準装備で作業の自動化が可能。



『KBD Pro-vision』
シート紙対応
340S Ⅱ（左）

ロール紙対応
330R Ⅱ（右）

株式会社光文堂
〒460-0022 名古屋市中区金山2-15-18
TEL052(331)4111　FAX052(331)4691
http://www.kobundo.co.jp

■校正アプリケーションソフトウェア
『KBD Bit Match Premium』

KBD Bit Match Proは、修正前後の重ね合わせによる校正だけではなく選択エリアの文字比較機能も搭載し、デザイン～組版～ページアップまで制作の各段階で作業時間の短縮と校正ミスを防ぐことを可能とし、発売以来、皆様から大好評を得ている。そしてこの度、新たな機能を加えて『KBD Bit Match Premium』として新登場した。従来からの「あおり検査モード」、「比較モード」、「差分マーカー」、「テキスト解析」などの主な機能に加え以下の機能が加わった。

■主な新機能：□比較する2つのPDFの位置がずれている場合の、位置合わせの操作性と精度向上。□ページをまたいだ段落テキストもつなげた状態で照合可能。□ページ物で比較箇所が点在しているテキスト照合結果をパネルで一覧表示。□比較モードで差異がない部分を表示する「グレー」の濃淡調整。□マーキング表示機能の精度向上で、差異のある部分とない部分の差を強調し、またプレビューを見ながら調整可能。□初校・再校など校正段階で位置が変わってしまったテキストも比較可能。

■従来からの主な機能：□あおり検査モード：2つのPDFを従来のあおり校正のように表示。□比較モード：原本と校正を重ね合わせて表示。修正後の変更部分が一目瞭然にチェック。□差分マーカー：修正前後の差異のある部分がカラフルに点滅し、微小な差異も一目でわかる。□テキスト解析：文字を解析して差分を色分けで表示。行ズレ箇所や極小文字の修正確認。□ページ比較機能：ページ物の比較結果を別ウィンドウで表示。差異の有無を一覧で判別。

■販促物の受発注・管理・発送までトータルでサポート
『KBD SuriOkky』

パソコンやスマートフォンを使って、クライアントが自社の販促物の受発注やデリバリー指示を24時間可能にするシステム。

以下のようなメリットを、クライアント様に提供できる。①ネットショッピングの様に必要な販促ツールを選んで簡単発注。②指定の送り先に必要なだけ販促ツールを発送指示。③販促物の在庫確認もリアルタイム。④出荷履歴で管理業務も簡素化。

■封筒用紙供給システム
『KBD封筒フィーダー UF-02(POD専用)』

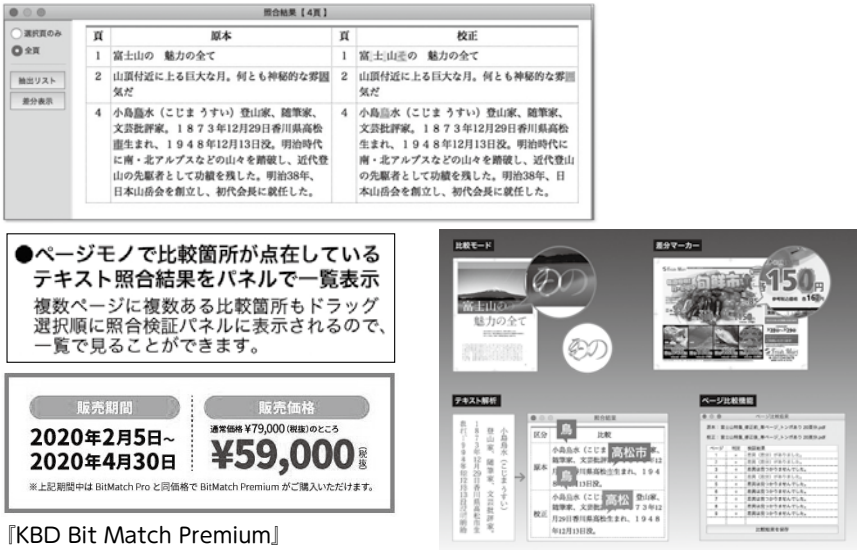
この度カラーステーションシリーズより、印刷機からプリントオンデマンドへの対応を可能にした新しい封筒フィーダーが誕生した。プリントオンデマンド単体では、今まで用紙カセットに封筒をセットしていたが、UF-02と組合せることで手差しトレーからの連続給紙が可能になった。印刷中に封筒の追い積みができ、よりオフセット印刷機に近づきプリントオンデマンドと組合わせる事で低コストでカラーバリアブル印刷を可能にする。

『KBD 封筒フィーダー UF-02(POD 専用)』

■インキ定量吐出システム
『KBDインキディスペンサー ID-FXⅡ』

これまで、KBDカラーステーションシリーズで好評を得ていたKBDインキディスペンサー ID-FXが、新しくインキディスペンサー ID-FXⅡとなって登場した。従来品よりも性能がUPし、高速モーターでインキの出力が早くなり、調合スピードが2倍となった。油性、UV、LED-UV、ハイブリッドUV、金属などあらゆるインキに対応し、1kg缶タイプで実績No.1の製品である。

『KBD インキディスペンサー ID-FX Ⅱ』



『KBD Bit Match Premium』

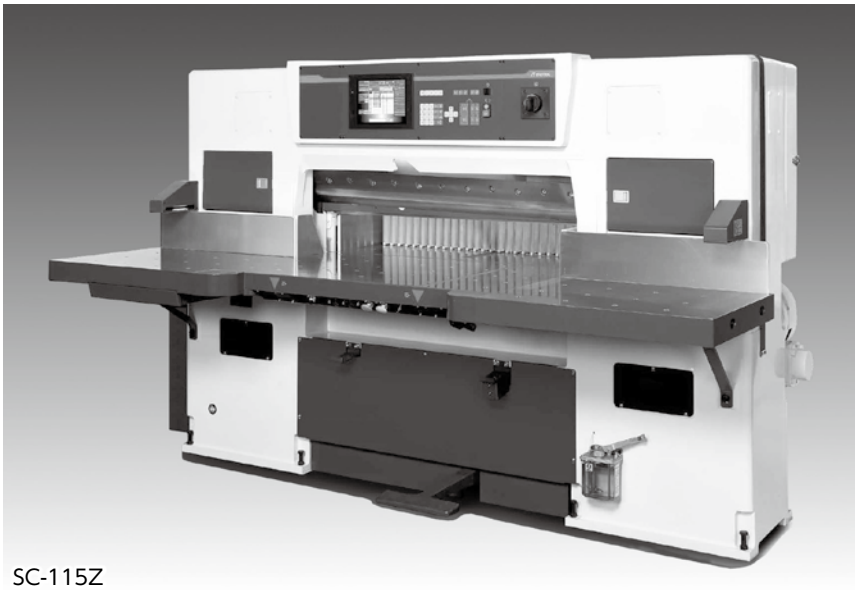
『KBD SuriOkky』

ITOTEC

イトーテック株式会社
〒484-0912愛知県犬山市舟田10-4
TEL0568(67)5311 FAX0568(68)0495
http://www.itotec.co.jp/

■未来世紀を切り拓く、無限の創造力

イトーテックは創業以来100年の歴史をもつ断裁機メーカーとして、世界にその名を知られ、販路を広げてきました。日本はもとより、世界中からイトーテックが求められる背景には、つねに人と社会に貢献する使命で技術革新を進め、世界の最前線で業界をリードしてきた姿勢があります。そして新たに未知の世紀を迎えた今、真に価値ある高機能でお客さまのお役に立つ断裁機メーカーとして、これまで培ってきた専門技術と英知を総結集。断裁機メーカーとして、これからも驚異と感動を呼び起こす斬新なテクノロジーを創造していきたいと願っています。



SC-115Z

■高精度で長寿命の eRC シリーズが進化

SC シリーズ断裁機となって新登場です。より便利に、もっと安全にを追求して新機能を追加してメンテナンス性や効率性も高めました。今の導入で未来も安心なネットワーク対応も万全な断裁機です。断裁現場を知り尽くしたイトーテックの技術とアイデアが満載のニューモデルで、SC-100 Z、SC-115 Z、SC-137 Z の 3 機種がラインナップされています。

■主な機能

□光電管安全装置を外側 (両端) に配置

センサーの反応エリアが広がり、保守やナイフ交換等がより安全に行えるようになりました。装置の位置は従来のように内側にすることもできます。

□ USB メモリ等の接続でデータの入出力が行えます。

モニタ横に USB ポートを装備。さらに追加オプションで取扱説明書などの PDF をモニタに表示することも可能になります。

□ナイフの速度とバックゲージの前進最大速度が向上しました。

動作時間の比較実験では従来機より断裁スピードが上がって時短効果が現れました。(機械の動作時間の比較：SC-115Z と eRC-115DX で計測。用紙セット時間含まず)SC シリーズ断裁機、約 58 秒、従来機、約 66 秒。

□断裁内容＝原紙サイズ : 菊判 / 仕上げサイズ :A4・8 面付け / ドブ : 各 5mm/ 突き出し :2 回 (バックゲージ後退時)/ 総断裁回数 :12 回。

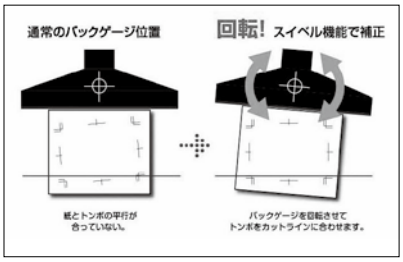
■効率アップと安全性向上の新機能

□標準装備：①『タッチパネル画面が大きくなりました』8.4 インチから 10 インチに拡大しました。②『最大クランプ圧力をアップ』ボール系やビニール系の断裁精度が向上しています。③『ペダル操作時にクランプ上昇安全機能が作動』光電管と連動した安全機能です。意図しないクランプ降下による事故防止に役立ちます。(作動の ON、OFF の切り替えができます) ④『内部アクセス窓のカバーを開き戸式にしました』片手で開け閉めでき、従来のように外した蓋を置く手間も無いのでナイフの調整等が素早く行えます。カバーを開けると光電管のセンサーが働きインターロックが行われます。(標準の光電管両外仕様の場合) ⑤『ペダル高圧機能を標準装備』ON、OFF の切り替えができます。⑥『ソフトクランプを標準装備』クランプペダルを踏んで降下した時のクランプ圧力を低圧に抑えるソフトクランプ方式を標準で採用。⑦『くず取り窓を付けました』断裁機内部に落ちた裁ちくずの清掃が手早く行えます。⑧『操作ボタンにキートップが付きました』ボタンの耐久性が良くなりました。サイズも大きくなって押しやすくなりました。⑨『本体下部の凹みを無くしました』安定性が良くなりました。

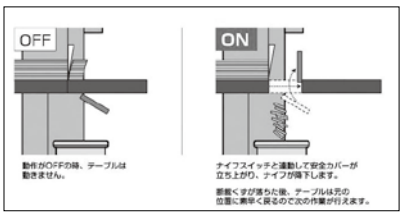
■オプショナルユニット

□ロボスイベル：トンボのズレを素早く修正する / 分かりやすいモニタ画面の操作 / 入力した数値は記憶できるので作業効率アップ

□ロボトリム：裁ちくずをスムーズに自動処理 / 動作 ON、OFF の切替え可能 / ダンパー (オプション) でダストボックスに自動排出。ロボトリムにダンパーを組み合わせれば、裁ちくずをダストボックスに自動搬送できます。断裁オペレーターの負担を減らし、効率的なワークが行えます。



ロボスイベル



ロボトリム

ロボトリムにダンパーを組み合わせ

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン Graphic design
ウェブデザイン Web design
セールスプロモーションデザイン Sales promotion design
エディトリアルデザイン Editorial design
アドバタイジングデザイン Advertising design
オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWiSE 株式会社 アドワイズ
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-15-15 ダイアパレス丸の内201
TEL 052-212-5182 FAX 052-212-5183 E-mail:ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/

heart 人から人へ心を伝える ハート紙製品

グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社
URL : www.heart-group.co.jp

多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧

JPSA モリサワ
モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール
MC Catalog+
エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは エムシーカタログ
www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。

紙・包材・LEDの 株式会社 アクアス
本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page http://www.axuas.jp E-mail info@axuas.jp

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

キングは印刷会社のパートナー

詳しくは キング封筒 検索

Printing Supply
封筒用紙・名刺用紙・ハガキ・包装用商材

Printing Promotion
カレンダー印刷・名入販促物
（クリアホルダー、ふせん等）

Printing Support
業務支援アプリ・営業支援アプリ

Printing System
名刺作成システム
（ソフト、プリンター、裁断機）

KING CORPORATION 株式会社キングコーポレーション

本社／〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661（代）

全国15拠点をサポート

本社／名古屋本店／東京支店／大阪支店／福岡支店／仙台支店／横浜支店／静岡支店／金沢支店／神戸支店／広島支店／鹿児島支店／札幌営業所／青森営業所／浜松営業所

超戦

KOBUNDO

Pro-vision

PRODUCTS

KBD きらり

NEW

UV スポットニスとの融合で高品質で立体的な付加価値ある印刷物を!

KBDきらりは、小ロットでもロングランにも適したデジタルコーティングシステム。箔押しも標準装備しており、スポットニスとの融合で高品質で立体的な仕上がりを実現!
コロナ処理を標準装備しており、 様々なデジタル印刷物にも対応。
デジタルコーティングなので版が必要なく、様々な印刷データを短時間でセットでき、納期短縮も可能としました。

KBD マルチ・テーピング・システム

NEW

両面テープ貼りに特化した製品で、セット時間が短く省スペースでの設置も可能!

●最大4ヘッドまで搭載可能センサーを通して、正確な位置にテープを貼ります。

セミオートフィーダーを搭載しており、最大76m/分の速度で生産可能!

558mm幅に最大4セットまでのテープヘッドが搭載可能!

デジタル制御高精度シートカッター

KBD Value Sheeter 1400

KBDバリューシーター1400は、最新の先端技術を採用し、高速で安定した断裁を可能にするシートカッターです。

フィニッシングソリューション

KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

KBD MOLLシステムは、製袋機、グルーシステム、紙折機の機能を統合して、パッケージ等の型紙を自動で製造するユニットシステムです。

印刷機材の総合商社 株式会社 光文堂

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所／北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄